

資料編 ごみ処理の将来予測に関する資料

将来予測は、人口は過去の実績や上位計画等の将来人口を基に予測し、ごみ排出量等は過去 5 年間（平成 20 年度～平成 24 年度）の実績を用いて、最も近似する回帰式（5 式）を最小二乗法で求め予測します。このうち、ごみ排出量は家庭系ごみと事業系ごみに分け、家庭系ごみは 1 人 1 日平均排出量（g/人・日）（以下「原単位」という。）を基に、事業系ごみは年間量（t/年）を基に予測します。

なお、将来予測は「現況推移ケース」（現況実績のまま推移した場合の予測）と、それに対して発生・排出抑制及び資源化移行に関する施策を展開した場合の予測「目標達成ケース」の 2 段階に分けて検討します。

回帰式を求める方法として、次の 5 ケースについて検討します。

① 一次傾向線	: $y=at+b$	t	: 基本年からの経過年数
② 二次傾向線	: $y=at^2+bt+c$	y	: 基本年から t 年後の推計値
③ 一次指数曲線	: $y=a \times b^t$	K	: 飽和値
④ ベキ曲線	: $y=a \times t^b$	a, b, c	: 定数
⑤ ロジスティック曲線	: $y=K/(1+e^{-(a-bt)})$		

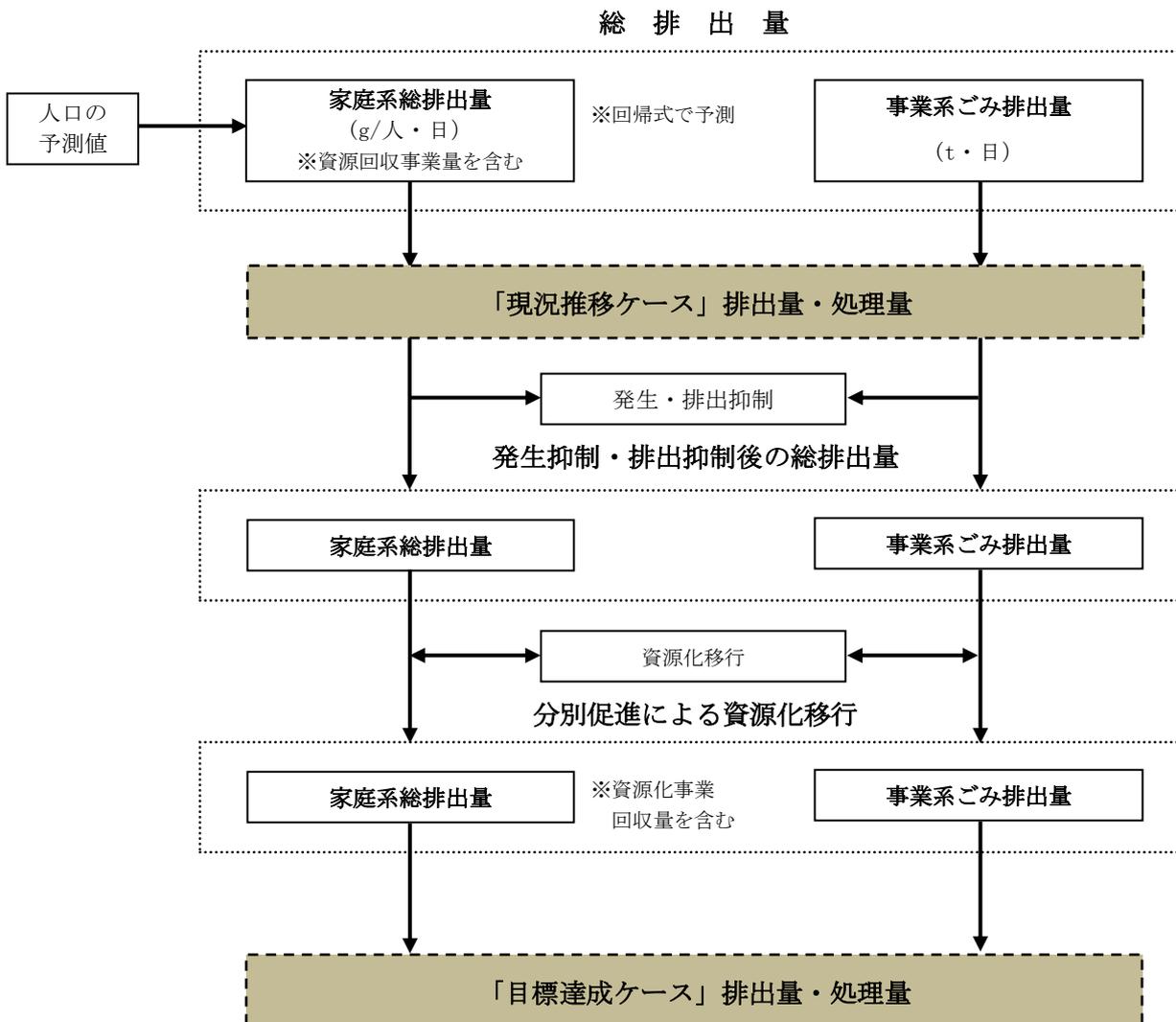


図 1-1 予測フロー

1 人口の予測

本町の人口実績は、表 1-1 に示すとおりです。過去 10 年間では年々増加しており、区画整理事業等に伴い今後も増加することが予測されます。

本市の将来人口については、平成 22 年 3 月策定の幸田町都市計画マスタープランに掲げられている「平成 27 年度 40,000 人、平成 32 年度（中間年度）42,100 人、平成 42 年度（目標年度）46,400 人」を基準に推移していくこととします。なお、各年度における人口は、直線補間により推移していくものとします。

人口の予測結果は、図 1-2 及び表 1-2 に示すとおりです。

表 1-1 人口の実績

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
人口	34,455	34,710	35,596	35,729	36,635	37,269	37,387	37,930	38,115	38,543
増減数	—	+255	+886	+133	+906	+634	+118	+543	+185	+428

住民基本台帳登録人口（外国人含む）（各年10月1日現在）

注）平成17年、平成22年については国勢調査人口（各年10月1日現在）

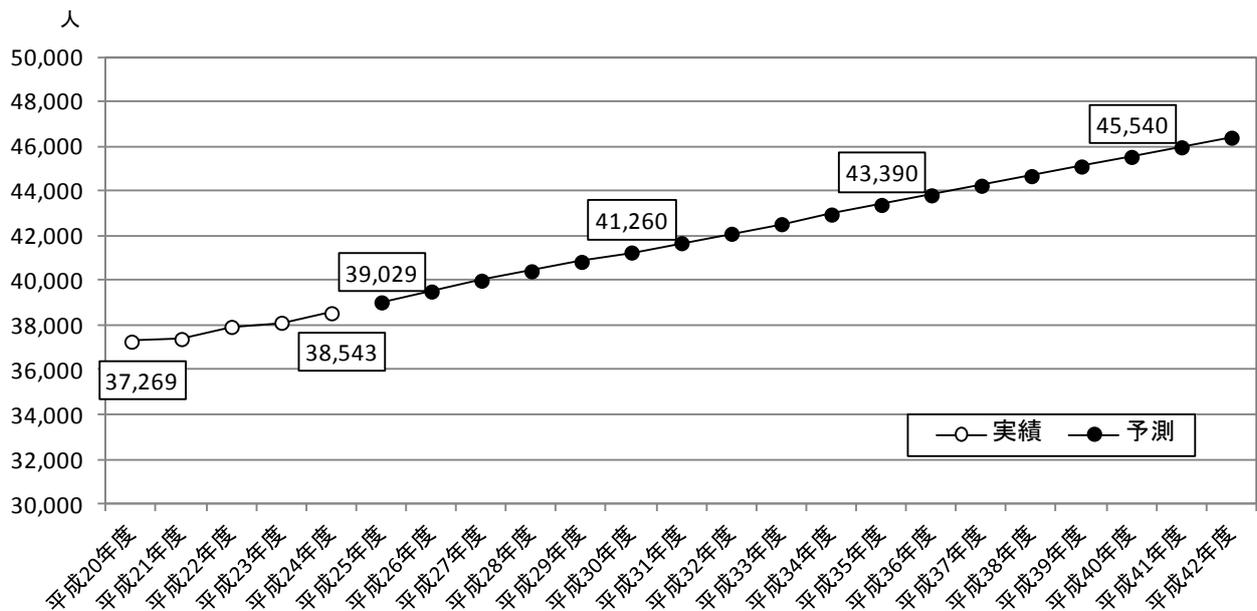


図 1-2 人口の予測結果

表 1-2 人口の予測結果

年度	人口（人）		備考	
		増減数		
実績	平成15年度	34,455	—	
	平成16年度	34,710	255	
	平成17年度	35,596	886	
	平成18年度	35,729	133	
	平成19年度	36,635	906	
	平成20年度	37,269	634	
	平成21年度	37,387	118	
	平成22年度	37,930	543	
	平成23年度	38,115	185	
	平成24年度	38,543	428	
予測	平成25年度	39,029	486	直線補間
	平成26年度	39,514	486	〃
	平成27年度	40,000	486	都市マス
	平成28年度	40,420	420	直線補間
	平成29年度	40,840	420	〃
	平成30年度	41,260	420	〃
	平成31年度	41,680	420	〃
	平成32年度	42,100	420	都市マス
	平成33年度	42,530	430	直線補間
	平成34年度	42,960	430	〃
	平成35年度	43,390	430	〃
	平成36年度	43,820	430	〃
	平成37年度	44,250	430	〃
	平成38年度	44,680	430	〃
	平成39年度	45,110	430	〃
	平成40年度	45,540	430	〃
	平成41年度	45,970	430	〃
	平成42年度	46,400	430	都市マス

2 現況推移ケースの予測

表 1-3 に示す分別区分に基づき、家庭系ごみ（資源回収事業量含む）及び事業系ごみの総排出量を予測します。

表 1-3 予測対象ごみの分別区分

大区分	中区分	小区分
家庭系ごみ (g/人・日)	燃やすごみ	収集、自己搬入
	不燃ごみ	収集（陶磁器・ガラス、その他不燃ごみ）、 自己搬入（不燃ごみ）
	危険・有害ごみ	収集（スプレー缶、蛍光管、乾電池）
	粗大ごみ	可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ
	資源 (収集ごみ+資源回収事業量)	収集（生きびん、その他びん、飲食用缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、白色トレイ・発泡スチロール、ミックスペーパー、その他のアルミ、その他金属、プラスチック製品、生ごみ（里・逆川）） 拠点回収（古紙、古着、アルミ缶、スチール缶*、小型家電） 資源回収事業（古紙、古着、アルミ缶、スチール缶）
事業系ごみ (t/年)	燃やすごみ	許可収集（一般事業所）、委託収集（公共施設）
	不燃ごみ	許可収集（一般事業所）、委託収集（公共施設）
	資源ごみ	許可収集（一般事業所）、委託収集（公共施設）

※拠点回収のスチール缶は平成 25 年 4 月 1 日からの開始で実績値がないため、現況推移ケースには考慮しないものとします。

(1) 家庭系ごみ排出量原単位の予測

表 1-4 に示す過去 5 年間の実績値（排出量原単位）を用いて、資源を除く家庭系ごみ排出量原単位の予測根拠を表 1-5 のように、推計結果を表 1-6～8 のように定めます。

表 1-4 予測に用いる実績値（家庭系ごみ排出量原単位（g/人・日））

単位：g/人・日

分別区分			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
燃やすごみ	収集		346.6	340.5	336.9	347.8	356.1
	自己搬入		0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
不燃ごみ	陶磁器・ガラス	収集	5.5	5.9	5.6	5.3	4.8
	その他不燃ごみ	収集	2.8	3.4	3.0	2.7	2.8
	不燃ごみ	自己搬入	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
危険・有害ごみ	スプレー缶	収集	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5
	蛍光管		0.4	0.4	0.3	0.3	0.3
	乾電池		0.8	0.9	0.8	0.8	0.7
粗大ごみ	可燃ごみ	収集	19.2	17.4	18.3	18.2	18.8
	不燃ごみ		5.9	4.8	4.8	4.1	2.6
	資源ごみ		11.4	10.0	8.9	8.6	7.5

表 1-5 家庭系ごみ排出量原単位 (g/人・日) の採用根拠

種類	採用式	採用根拠
家庭系収集 燃やすごみ原単位	一次指数曲線 【表 1-6 参照】	過去 5 年間の排出量はほぼ横ばいの傾向となっています。 今後の予測値は、数値が大きく異なる二次傾向線を除いて、最も相関係数の高い一次指数曲線を採用します。
家庭系自己搬入 燃やすごみ原単位	5 年間平均値 で一定推移	排出量はほぼ 0 に近く、過去 5 年間の変動量も少ない傾向となっています。 今後も現状のまま推移すると予想されるため、過去 5 年間の平均値 <u>0.1g</u> で一定推移していくものとします。
家庭系収集 不燃ごみ (陶磁器・ガラス) 原単位	平成 24 年度実績 で一定推移	過去 5 年間の排出量は平成 21 年度以降で年々減少の傾向にあります。 一方で、このまま減少が続くとは考えにくく、ある程度で飽和の傾向になるものと予測されます。 今後の予測値としては、ある程度の変動はあるものの概ね、平成 24 年度実績値 <u>4.8g</u> で一定推移していくものとします。
家庭系収集 不燃ごみ (その他不燃) 原単位	3 年間平均値 で一定推移	過去 5 年間の排出量は平成 21 年度に多くなっているものの、平成 22 年度以降の 3 年間ではほぼ横ばいの傾向となっています。 今後の予測値としては、過去 3 年間の平均値 <u>2.8g</u> で一定推移していくものとします。
家庭系自己搬入 不燃ごみ原単位	平成 24 年度実績 で一定推移	平成 21 年以降では排出量 0 となっています。 今後も現状のまま推移すると予想されるため、平成 24 年度実績値 <u>0g</u> で一定推移していくものとします。
家庭系収集 危険・有害ごみ (スプレー缶) 原単位	5 年間平均値 で一定推移	過去 5 年間の排出量は大きな変動なく推移しています。 今後、多少の増減はあるものの概ね過去 5 年間の平均値 <u>0.5g</u> で一定推移していくものとします。
家庭系収集 危険・有害ごみ (蛍光管) 原単位	3 年間平均値 で一定推移	過去 3 年間の排出量は、ほぼ一定で推移しています。 今後、多少の増減はあるものの概ね過去 3 年間の平均値 <u>0.3g</u> で一定推移していくものとします。
家庭系収集 危険・有害ごみ (乾電池) 原単位	べき曲線 【表 1-7 参照】	過去 5 年間の排出量は大きな変動なく推移しています。 今後の予測値としては、乾電池の長寿命化や充電式電子媒体の普及等により減少するものの最も傾きの少ない、べき曲線で推移していくものとします。
家庭系収集粗大 可燃ごみ原単位	べき曲線 【表 1-8 参照】	過去 5 年間の排出量はほぼ横ばいの傾向となっています。 今後の予測値としては、最も相関係数の高い、べき曲線を採用します。
家庭系収集粗大 不燃ごみ原単位	平成 24 年度実績 で一定推移	過去 5 年間の排出量は大きく減少の傾向となっています。 この背景として、平成 23 年度より、粗大ごみで回収した硬質プラスチックの選別方法が不燃ごみから、可燃ごみへ変更したこと等が考えられます。 今後の予測値としては、現状の傾向のまま減少するとは考えにくく、平成 24 年度実績値 <u>2.6g</u> で一定推移していくものとします。
家庭系収集粗大 資源ごみ原単位	平成 24 年度実績 で一定推移	過去 5 年間の排出量は減少の傾向となっています。 なお、平成 24 年度からは小型家電の拠点回収が開始されていることから、一部排出量が移行しているものと考えられます。 今後の予測値としては、多少の変動はあるものの、概ね排出状況の変わった平成 24 年度実績値 <u>7.5g</u> で一定推移していくものとします。

表 1-6 家庭系収集燃やすごみ原単位 (g/人・日) の推計

年度	家庭系収集燃やすごみ排出量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	346.6					
21	340.5					
22	336.9					
23	347.8					
24	356.1					
25		353.5	375.2	353.4	352.7	353.9
26		356.1	399.6	356.1	355.0	356.2
27		358.8	430.1	358.8	357.1	358.4
28		361.4	466.9	361.5	359.2	360.5
29		364.0	509.8	364.3	361.2	362.5
30		366.7	559.0	367.0	363.1	364.3
31		369.3	614.3	369.8	365.0	366.1
32		372.0	675.9	372.6	366.9	367.7
33		374.6	743.7	375.4	368.7	369.2
34		377.2	817.7	378.3	370.5	370.7
35		379.9	897.8	381.2	372.2	372.0
36		382.5	984.2	384.0	373.8	373.3
37		385.1	1,076.8	387.0	375.5	374.5
38		387.8	1,175.6	389.9	377.1	375.6
39		390.4	1,280.6	392.8	378.6	376.7
40		393.1	1,391.8	395.8	380.2	377.7
推計式		$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=		287.5	1,782.5	292.6	211.2	0.6
b=		2.6	-133.8	1.0	0.2	0.1
c=			3.1			
K=						391.7
相関係数		0.564	0.645	0.567	0.549	0.536
採用結果				○		

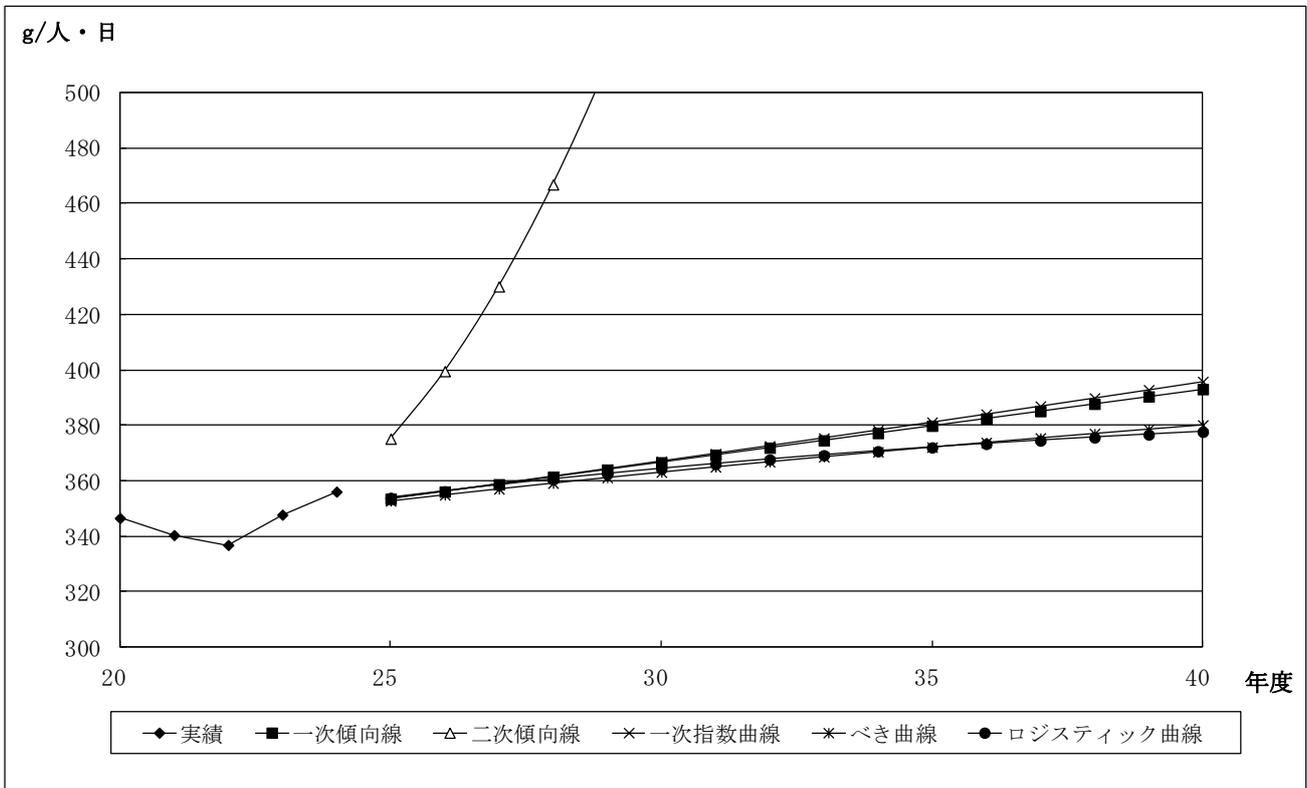


表 1-7 家庭系収集危険・有害ごみ（乾電池）原単位（g/人・日）の推計

年度	家庭系収集危険・有害ごみ（乾電池）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	0.8					
21	0.9					
22	0.8					
23	0.8					
24	0.7					
25		0.7	0.6	0.7	0.7	0.7
26		0.7	0.5	0.7	0.7	0.7
27		0.7	0.3	0.7	0.7	0.6
28		0.6	0.1	0.6	0.7	0.6
29		0.6	-0.1	0.6	0.6	0.5
30		0.6	-0.4	0.6	0.6	0.5
31		0.5	-0.7	0.6	0.6	0.4
32		0.5	-1.0	0.6	0.6	0.4
33		0.5	-1.4	0.5	0.6	0.3
34		0.5	-1.8	0.5	0.6	0.3
35		0.4	-2.2	0.5	0.5	0.2
36		0.4	-2.6	0.5	0.5	0.2
37		0.4	-3.1	0.5	0.5	0.2
38		0.3	-3.6	0.4	0.5	0.2
39		0.3	-4.2	0.4	0.5	0.1
40		0.3	-4.7	0.4	0.5	0.1
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	1.4	-6.1	1.8	9.1	0.0	
b=	-0.0	0.7	1.0	-0.8	-0.2	
c=		-0.0				
K=					1.0	
相関係数	0.754	0.799	0.744	0.734	0.771	
採用結果				○		

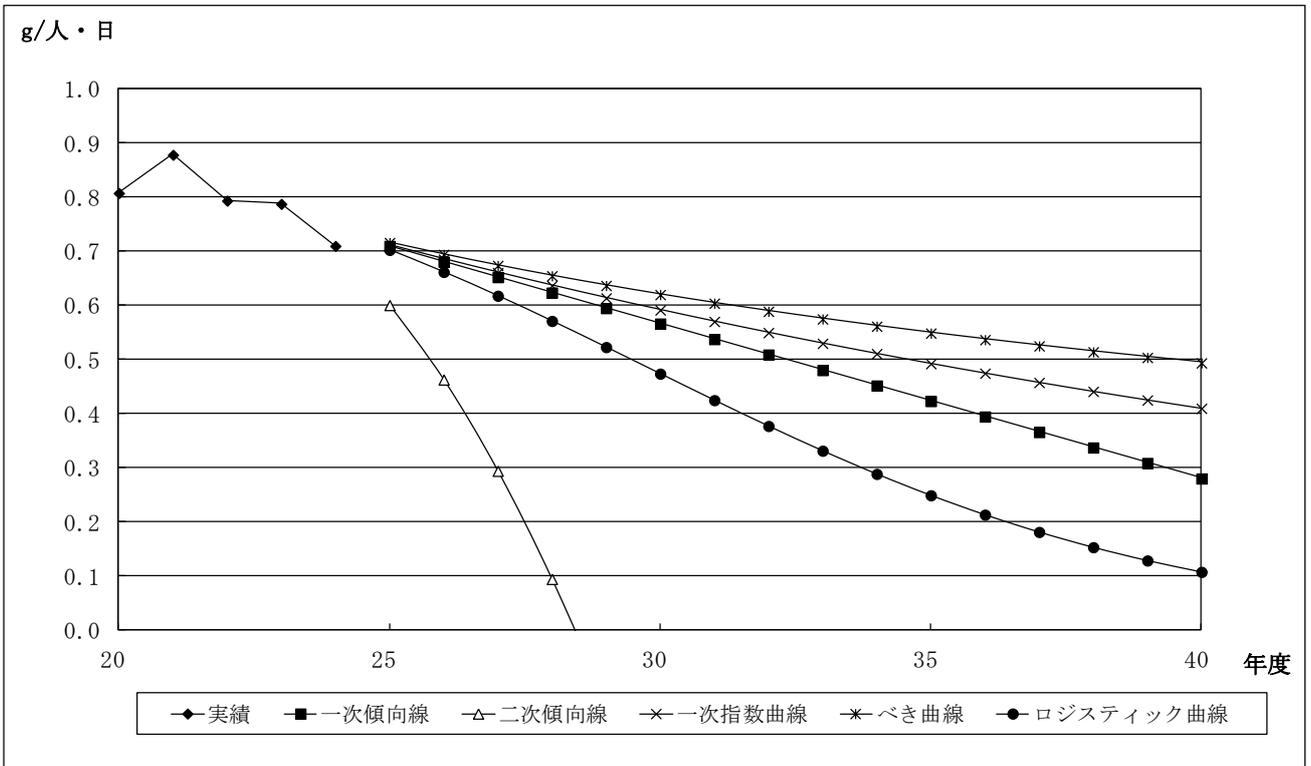
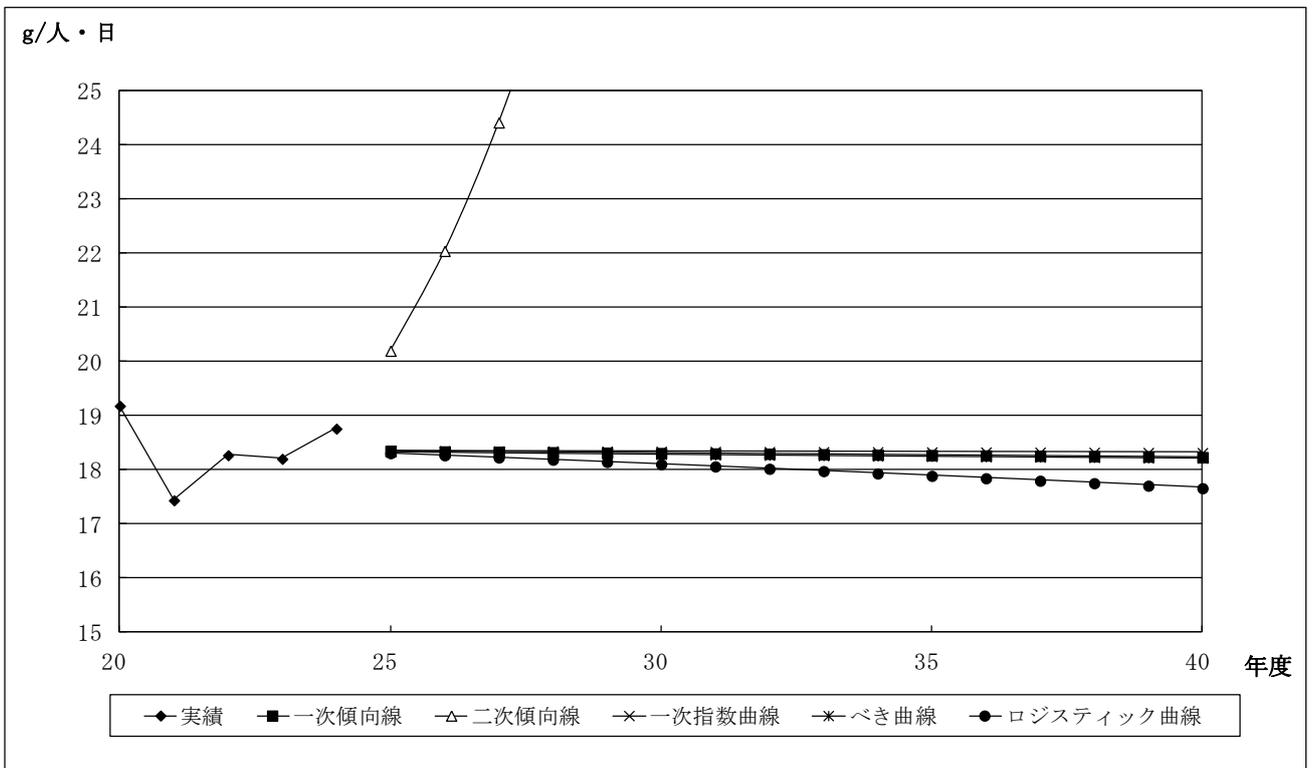


表 1-8 家庭系粗大ごみ（可燃ごみ）原単位（g/人・日）の推計

年度	家庭系粗大ごみ（可燃ごみ）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	19.2					
21	17.4					
22	18.3					
23	18.2					
24	18.8					
25		18.4	20.2	18.4	18.3	18.3
26		18.3	22.1	18.4	18.3	18.3
27		18.3	24.4	18.4	18.3	18.2
28		18.3	27.3	18.4	18.3	18.2
29		18.3	30.8	18.3	18.3	18.2
30		18.3	34.7	18.3	18.3	18.1
31		18.3	39.2	18.3	18.3	18.1
32		18.3	44.3	18.3	18.3	18.0
33		18.3	49.8	18.3	18.3	18.0
34		18.3	55.9	18.3	18.3	17.9
35		18.3	62.5	18.3	18.3	17.9
36		18.3	69.6	18.3	18.2	17.8
37		18.3	77.3	18.3	18.2	17.8
38		18.3	85.5	18.3	18.2	17.8
39		18.2	94.3	18.3	18.2	17.7
40		18.2	103.5	18.3	18.2	17.7
推計式		$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{(a-bX)})$
a=		18.5	146.2	18.4	19.1	0.1
b=		-0.0	-11.7	1.0	-0.0	-0.0
c=			0.3			
K=						21.1
相関係数		0.018	0.071	0.018	0.035	0.013
採用結果					○	



(2) 家庭系資源原単位の予測

表 1-9 に示す過去 5 年間の実績値を用いて、家庭系資源原単位（収集資源＋資源回収事業）の予測根拠を表 1-10 のように、推計結果を表 1-11～18 のように定めます。

表 1-9 予測に用いる実績値（家庭系資源原単位（g/人・日））

単位：g/人・日

分別区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
収集	生きびん	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9
	その他びん	18.5	17.8	17.7	17.2	17.0
	飲食用缶	5.1	4.8	4.7	4.4	4.2
	ペットボトル	7.6	7.7	7.9	7.5	6.8
	プラスチック製容器包装	20.7	19.7	19.1	18.6	18.3
	白色トレイ・発泡スチロール	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6
	ミックスペーパー	23.4	22.7	22.0	21.7	21.6
	その他のアルミ	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
	その他金属	2.9	3.5	3.1	2.7	2.9
	プラスチック製品	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8
生ごみ（里・逆川）	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	
拠点回収	古紙	-	-	5.3	4.8	4.5
	古着	-	-	0.9	0.9	0.9
	アルミ缶	-	-	0.0	0.0	0.0
	小型家電	-	-	-	-	0.3
資源回収事業	古紙	133.4	116.7	113.9	107.8	106.8
	古着	9.5	8.6	8.7	8.4	8.2
	アルミ缶	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7
	スチール缶	-	-	-	-	0.1

注) 拠点回収のスチール缶は平成25年4月1日からの開始で実績値がないため、現況推移ケースには考慮しないものとします。

表 1-10 家庭系資源原単位 (g/人・日) の採用根拠

種類	採用式	採用根拠
生きびん	べき曲線 【表 1-11 参照】	過去 5 年間の排出量は緩やかな減少傾向で推移しています。 今後の予測値としては、缶類の普及等によるびんの需要減少に伴い、減少が予想されるものの、ある程度で飽和すると考えられるため、最も傾きの少ない、べき曲線を採用します。
その他びん	べき曲線 【表 1-12 参照】	過去 5 年間の排出量は若干の減少傾向となっています。 今後の予測値としては、減少傾向が予想されるものの、ある程度で飽和すると考えられるため、最も傾きの少ない、べき曲線を採用します。
飲食用缶	べき曲線 【表 1-13 参照】	過去 5 年間の排出量は減少傾向となっています。一方で、飲料缶の需要が減少しているわけではなく、この傾向は飽和していくものと考えられます。 今後の予測値としては、ある程度の増減はあるものの、概ね平成 24 年度実績 4.2g で一定推移するものとします。
ペットボトル	べき曲線 【表 1-14 参照】	過去 5 年間の排出量は平成 22 年度以降で減少傾向となっています。 今後の予測値としては、減少傾向が予想されるものの、ある程度で飽和すると考えられるため、最も傾きの少ない、べき曲線を採用します。
プラスチック製 容器包装	平成 24 年度実績 で一定推移	過去 5 年間の排出量は若干の減少傾向となっています。 一方で、年々減少量は少なくなっており、飽和傾向にあります。 今後の予測値としては、ある程度の増減はあるものの、概ね平成 24 年度実績 18.3g で一定推移するものとします。
白色トレイ・ 発泡スチロール	5 年間平均値 で一定推移	過去 5 年間の排出量は大きな変動なく推移しています。 今後、多少の増減はあるものの概ね過去 5 年間の平均値 0.7g で一定推移していくものとします。
ミックスペーパー	べき曲線 【表 1-15 参照】	過去 5 年間の排出量は若干の減少傾向となっています。 今後の予測値としては、減少傾向が予想されるものの、ある程度で飽和すると考えられるため、最も傾きの少ない、べき曲線を採用します。
その他のアルミ	5 年間平均値 で一定推移	過去 5 年間の排出量は大きな変動なく推移しています。 今後、多少の増減はあるものの概ね過去 5 年間の平均値 0.3g で一定推移していくものとします。
その他金属	べき曲線 【表 1-16 参照】	過去 5 年間の排出量はばらつきがあり、増減を繰り返しています。 今後、多少の増減はあるものの概ね過去 5 年間の平均値 3.0g で一定推移していくものとします。
プラスチック製品	べき曲線 【表 1-17 参照】	過去 5 年間の排出量は緩やかな減少傾向で推移しています。 今後の予測値としては、減少傾向が予想されるものの、ある程度で飽和すると考えられるため、最も傾きの少ない、べき曲線を採用します。
生ごみ (里・逆川)	5 年間平均値の半数 で一定推移	過去 5 年間の排出量は大きな変動なく推移しています。 一方で、平成 25 年度から逆川地区での収集が廃止となったため、今後の予測値としては、多少の増減はあるものの概ね過去 5 年間の平均値の半数 0.4g で一定推移していくものとします。
拠点回収 古紙	2 年間平均値 で一定推移	平成 23、24 年度の 2 年間では大きな変動なく推移しています。 今後、多少の増減はあるものの概ね過去 2 年間の平均値 4.7g で一定推移していくものとします。
拠点回収 古着	3 年間平均値 で一定推移	過去 3 年間の排出量は大きな変動なく推移しています。 今後、多少の増減はあるものの概ね過去 3 年間の平均値 0.9g で一定推移していくものとします。
拠点回収 アルミ缶	3 年間平均値 で一定推移	過去 3 年間ではほぼ排出量されていません。 今後も現状のまま推移すると予想されるため、過去 3 年間の平均値 0g で一定推移していくものとします。
拠点回収 小型家電	平成 24 年度実績 で一定推移	小型家電の拠点回収は H24.4 より開始しており、実績が出ているのは 1 年分のみです。このため、平成 24 年度実績 0.3g で一定推移するものとします。
資源回収事業 古紙	平成 24 年度実績 で一定推移	過去 5 年間の排出量は減少傾向となっています。 一方で、この 2 年間では減少量が少なく、飽和の傾向にあるといえます。 今後の予測値としては、ある程度の増減はあるものの、概ね平成 24 年度実績 106.8g で一定推移するものとします。
資源回収事業 古着	べき曲線 【表 1-18 参照】	過去 5 年間の排出量は減少傾向となっています。 今後の予測値としては、減少傾向が予想されるものの、ある程度で飽和すると考えられるため、比較的ばらつきの少ない過去 4 年間の実績をもとに、最も傾きの少ない、べき曲線を採用します。
資源回収事業 アルミ缶	5 年間平均値 で一定推移	過去 5 年間の排出量は大きな変動なく推移しています。 今後、多少の増減はあるものの概ね過去 5 年間の平均値 0.8g で一定推移していくものとします。
資源回収事業 スチール缶	平成 24 年度実績 で一定推移	スチール缶の資源回収事業は H24.4 より開始しており、実績が出ているのは 1 年分のみです。このため、平成 24 年度実績 0.1g で一定推移するものとします。

注) 拠点回収のスチール缶は平成 25 年 4 月 1 日からの開始で実績値がないため、現況推移ケースには考慮しないものとします。

表 1-11 家庭系収集資源（生きびん）原単位（g/人・日）の推計

年度	家庭系収集資源（生きびん）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	1.1					
21	1.0					
22	0.9					
23	0.9					
24	0.9					
25		0.9	1.0	0.9	0.9	0.8
26		0.8	1.1	0.8	0.8	0.8
27		0.8	1.3	0.8	0.8	0.7
28		0.7	1.4	0.8	0.8	0.6
29		0.7	1.7	0.7	0.8	0.5
30		0.7	2.0	0.7	0.7	0.5
31		0.6	2.3	0.7	0.7	0.4
32		0.6	2.6	0.7	0.7	0.3
33		0.6	3.0	0.6	0.7	0.3
34		0.5	3.5	0.6	0.7	0.2
35		0.5	3.9	0.6	0.7	0.2
36		0.4	4.5	0.6	0.6	0.2
37		0.4	5.0	0.6	0.6	0.1
38		0.4	5.6	0.5	0.6	0.1
39		0.3	6.3	0.5	0.6	0.1
40		0.3	7.0	0.5	0.6	0.1
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	1.8	11.8	2.2	12.9	0.0	
b=	-0.0	-1.0	1.0	-0.8	-0.2	
c=		0.0				
K=					1.2	
相関係数	0.798	-0.716	0.810	0.819	0.788	
採用結果				○		

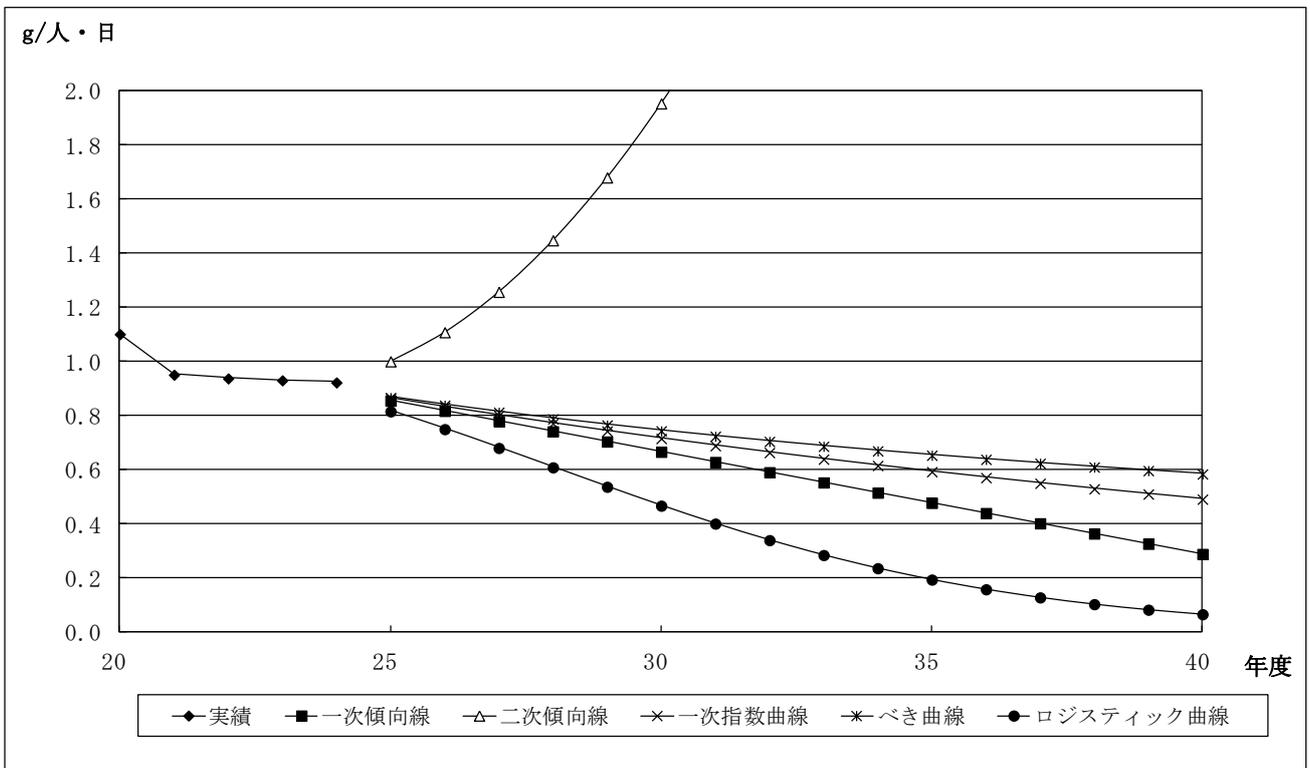


表 1-12 家庭系収集資源（その他びん）原単位（g/人・日）の推計

年度	家庭系収集資源（その他びん）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	18.5					
21	17.8					
22	17.7					
23	17.2					
24	17.0					
25		16.5	16.9	16.6	16.6	16.3
26		16.2	16.8	16.2	16.3	15.8
27		15.8	16.8	15.9	16.0	15.2
28		15.4	17.0	15.6	15.8	14.5
29		15.1	17.2	15.3	15.5	13.8
30		14.7	17.5	14.9	15.3	13.1
31		14.3	17.9	14.6	15.1	12.3
32		14.0	18.3	14.3	14.8	11.5
33		13.6	18.9	14.0	14.6	10.7
34		13.2	19.6	13.7	14.4	9.9
35		12.9	20.3	13.5	14.3	9.0
36		12.5	21.1	13.2	14.1	8.2
37		12.1	22.1	12.9	13.9	7.4
38		11.8	23.1	12.7	13.7	6.7
39		11.4	24.2	12.4	13.6	6.0
40		11.0	25.4	12.1	13.4	5.3
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	25.7	47.2	27.8	72.3	0.0	
b=	-0.4	-2.3	1.0	-0.5	-0.2	
c=		0.0				
K=					20.4	
相関係数	0.973	-0.726	0.974	0.977	0.965	
採用結果				○		

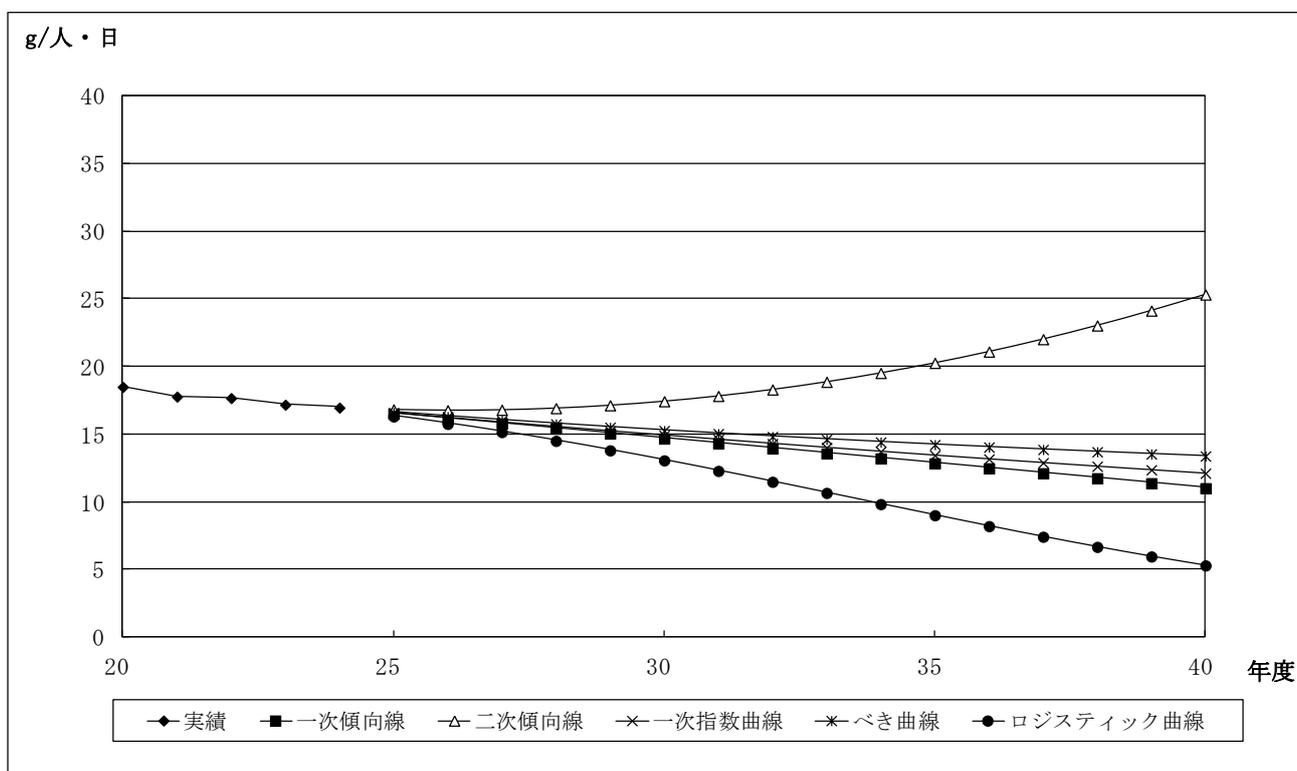


表 1-13 家庭系収集資源（飲食用缶）原単位（g/人・日）の推計

年度	家庭系収集資源（飲食用缶）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	5.1					
21	4.8					
22	4.7					
23	4.4					
24	4.2					
25		3.9	4.0	4.0	4.0	4.0
26		3.7	3.8	3.8	3.8	3.8
27		3.5	3.6	3.6	3.7	3.6
28		3.2	3.4	3.4	3.5	3.4
29		3.0	3.3	3.2	3.4	3.2
30		2.8	3.1	3.1	3.3	3.1
31		2.5	3.0	2.9	3.2	2.9
32		2.3	2.8	2.8	3.0	2.8
33		2.0	2.7	2.6	2.9	2.6
34		1.8	2.6	2.5	2.8	2.5
35		1.6	2.5	2.4	2.8	2.4
36		1.3	2.4	2.3	2.7	2.2
37		1.1	2.4	2.2	2.6	2.1
38		0.9	2.3	2.1	2.5	2.0
39		0.6	2.3	1.9	2.4	1.9
40		0.4	2.2	1.9	2.4	1.8
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	9.9	12.6	14.2	146.7	4.4	
b=	-0.2	-0.5	1.0	-1.1	-0.1	
c=		0.0				
K=					72.8	
相関係数	0.994	0.994	0.994	0.994	0.994	
採用結果				○		

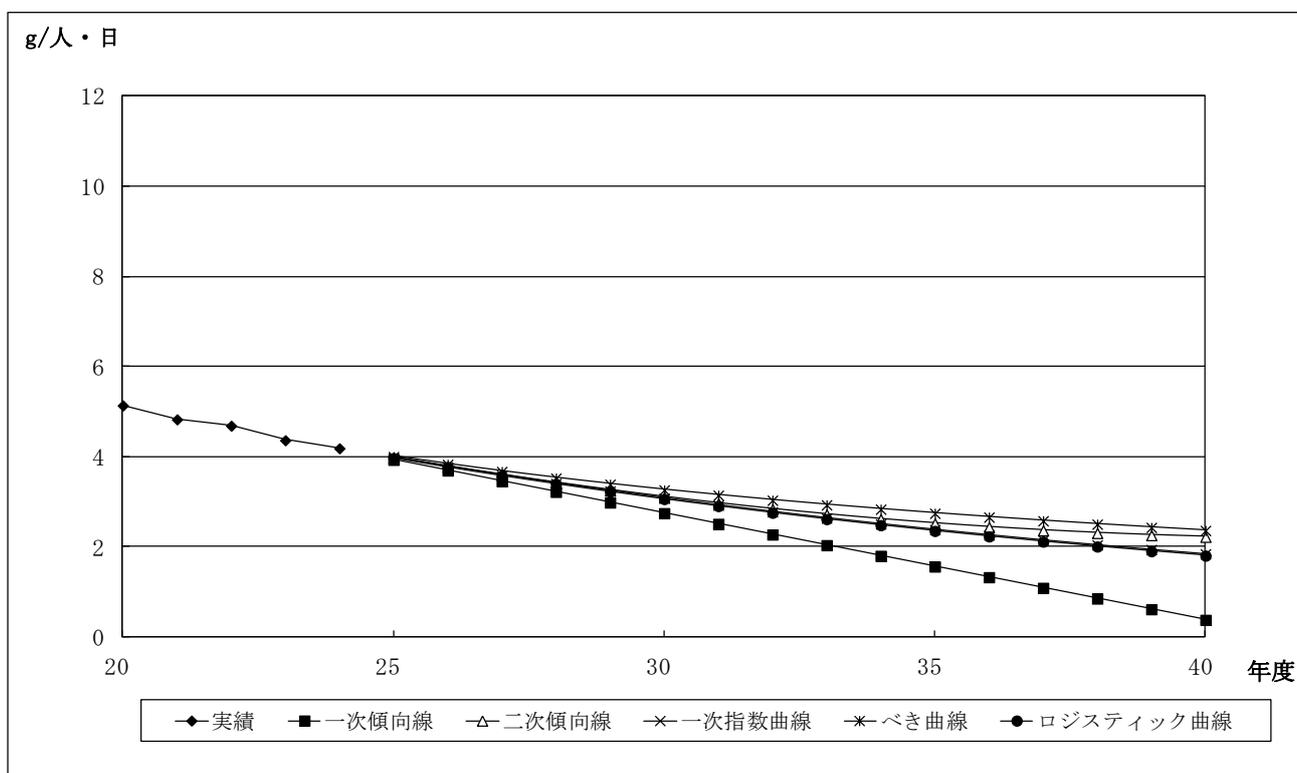


表 1-14 家庭系収集資源（ペットボトル）原単位（g/人・日）の推計

年度	家庭系収集資源（ペットボトル）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	7.6					
21	7.7					
22	7.9					
23	7.5					
24	6.8					
25		6.9	6.0	6.9	7.0	7.0
26		6.7	4.8	6.8	6.8	6.7
27		6.6	3.3	6.6	6.7	6.5
28		6.4	1.6	6.4	6.5	6.2
29		6.2	-0.4	6.2	6.4	5.9
30		6.0	-2.7	6.1	6.3	5.5
31		5.8	-5.2	5.9	6.2	5.2
32		5.6	-8.1	5.8	6.1	4.8
33		5.4	-11.2	5.6	6.0	4.5
34		5.2	-14.6	5.5	5.9	4.1
35		5.1	-18.3	5.3	5.8	3.8
36		4.9	-22.3	5.2	5.7	3.4
37		4.7	-26.5	5.1	5.6	3.1
38		4.5	-31.0	4.9	5.5	2.8
39		4.3	-35.8	4.8	5.4	2.5
40		4.1	-40.9	4.7	5.4	2.2
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	11.6	-55.8	13.2	41.5	0.0	
b=	-0.2	6.0	1.0	-0.6	-0.2	
c=		-0.1				
K=					8.7	
相関係数	0.734	0.797	0.724	0.712	0.764	
採用結果				○		

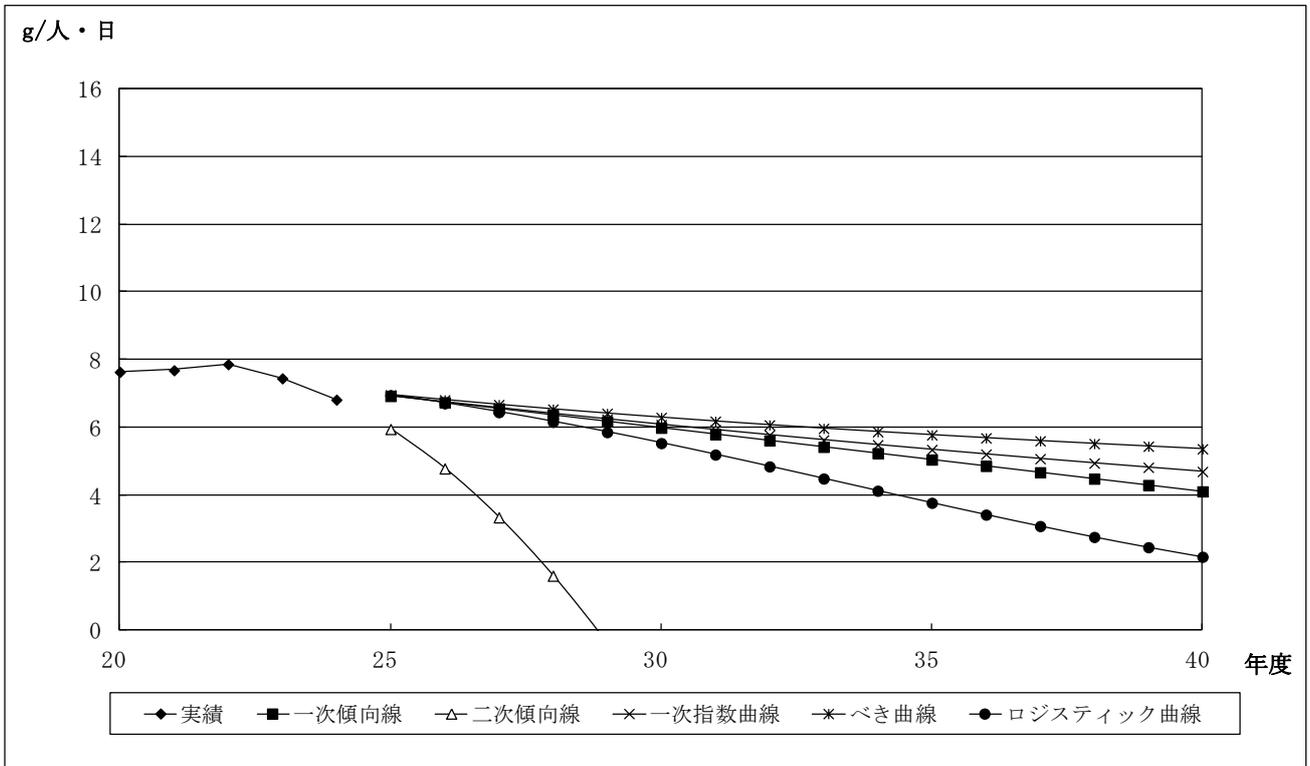


表 1-15 家庭系収集資源（ミックスペーパー）原単位（g/人・日）の推計

年度	家庭系収集資源（ミックスペーパー）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	23.4					
21	22.7					
22	22.0					
23	21.7					
24	21.6					
25		20.9	21.7	21.0	21.0	20.6
26		20.5	22.1	20.5	20.6	20.0
27		20.0	22.7	20.1	20.3	19.2
28		19.6	23.5	19.7	20.0	18.4
29		19.1	24.5	19.3	19.7	17.5
30		18.7	25.8	18.9	19.4	16.6
31		18.2	27.3	18.6	19.1	15.6
32		17.7	29.1	18.2	18.8	14.6
33		17.3	31.0	17.8	18.6	13.6
34		16.8	33.3	17.5	18.3	12.5
35		16.4	35.7	17.1	18.1	11.5
36		15.9	38.4	16.8	17.9	10.5
37		15.5	41.3	16.4	17.6	9.5
38		15.0	44.4	16.1	17.4	8.6
39		14.6	47.7	15.8	17.2	7.7
40		14.1	51.3	15.5	17.0	6.8
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	32.2	88.0	34.7	88.5	0.0	
b=	-0.5	-5.5	1.0	-0.4	-0.2	
c=		0.1				
K=					25.7	
相関係数	0.953	-0.881	0.957	0.962	0.939	
採用結果				○		

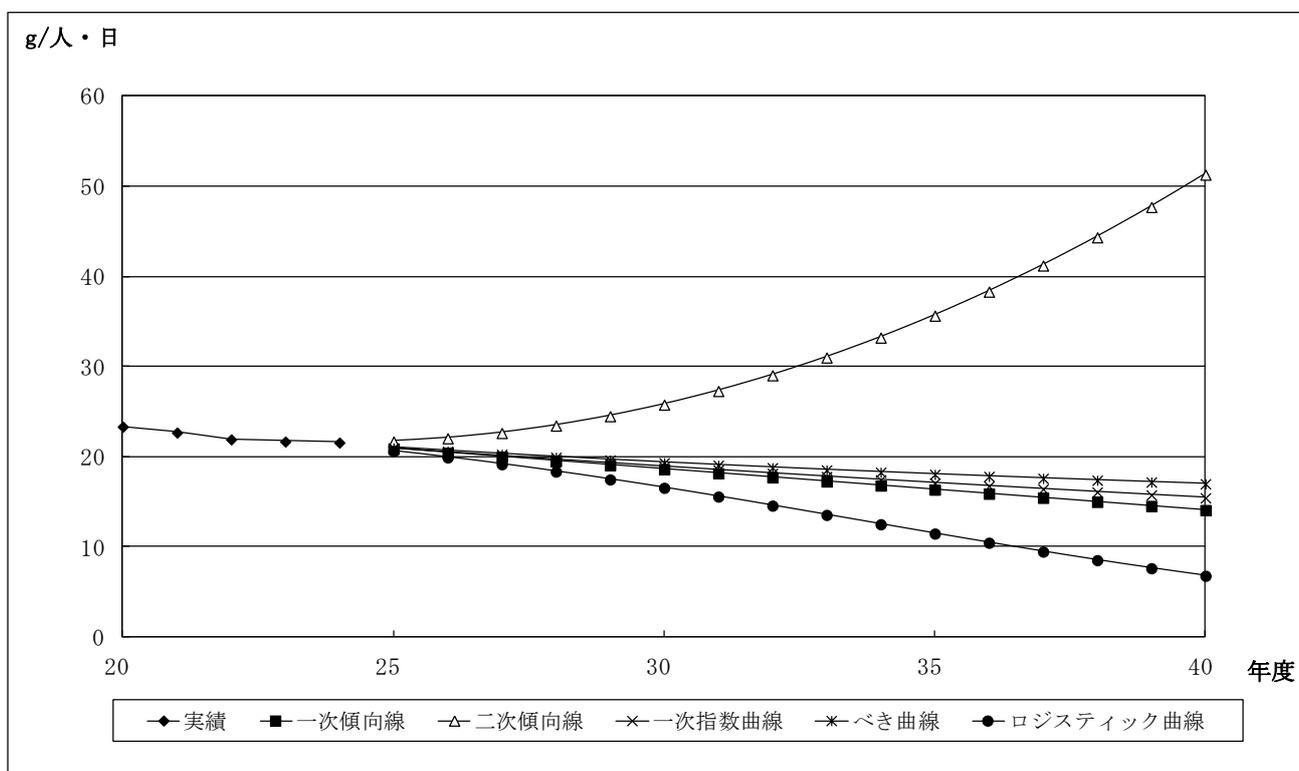


表 1-16 家庭系収集資源（その他金属）原単位（g/人・日）の推計

年度	家庭系収集資源（その他金属）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	2.9					
21	3.5					
22	3.1					
23	2.7					
24	2.9					
25		2.8	2.4	2.8	2.8	2.7
26		2.7	2.0	2.7	2.7	2.6
27		2.6	1.5	2.6	2.6	2.5
28		2.5	0.8	2.5	2.6	2.3
29		2.4	0.1	2.4	2.5	2.2
30		2.3	-0.7	2.4	2.5	2.0
31		2.2	-1.6	2.3	2.4	1.9
32		2.1	-2.6	2.2	2.4	1.7
33		2.0	-3.7	2.2	2.3	1.5
34		1.9	-4.9	2.1	2.3	1.4
35		1.8	-6.2	2.0	2.2	1.3
36		1.7	-7.6	2.0	2.2	1.1
37		1.7	-9.1	1.9	2.1	1.0
38		1.6	-10.6	1.9	2.1	0.9
39		1.5	-12.3	1.8	2.1	0.8
40		1.4	-14.1	1.8	2.0	0.7
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{(a-bX)})$	
a=	5.0	-18.1	5.8	22.2	0.0	
b=	-0.1	2.0	1.0	-0.6	-0.2	
c=		-0.0				
K=					3.9	
相関係数	0.455	0.480	0.449	0.443	0.463	
採用結果				○		

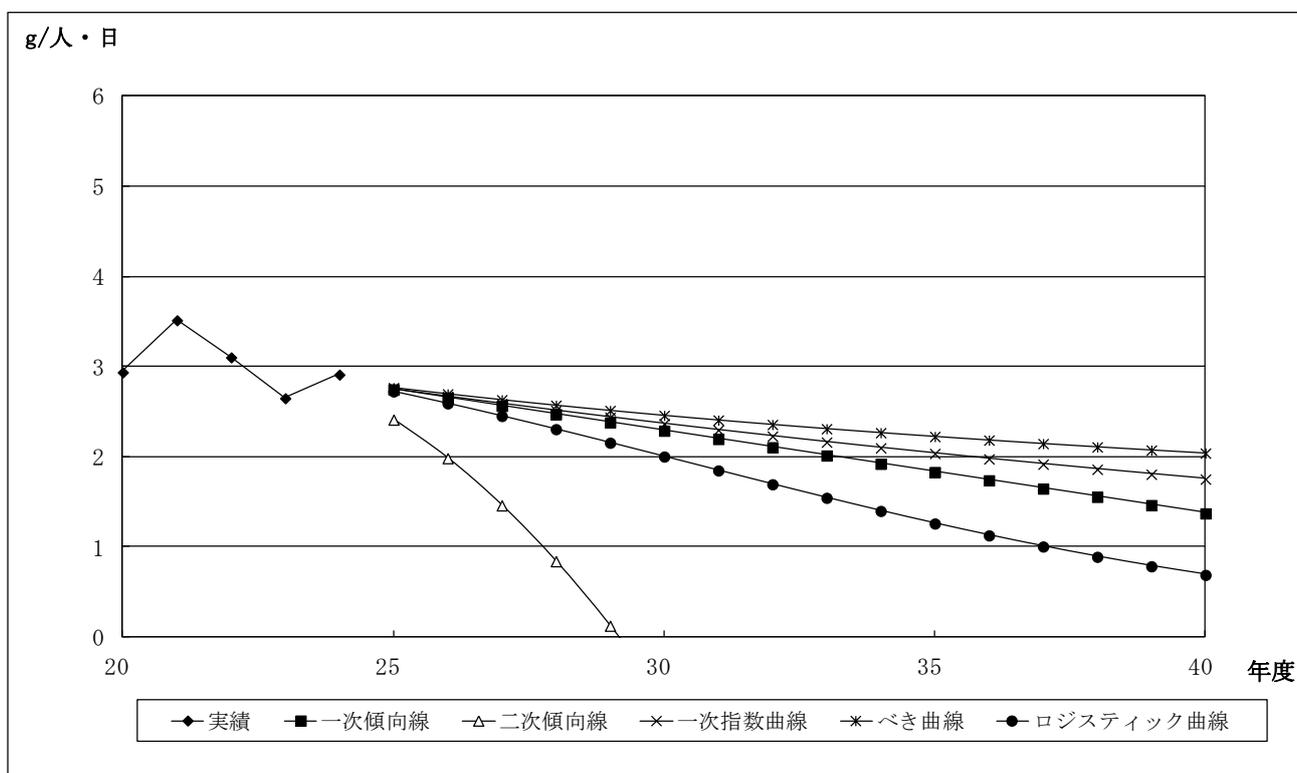


表 1-17 家庭系収集資源（プラスチック製品）原単位（g/人・日）の推計

年度	家庭系収集資源（プラスチック製品）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	4.9					
21	4.9					
22	4.8					
23	4.8					
24	4.8					
25		4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
26		4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
27		4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
28		4.6	4.6	4.7	4.7	4.6
29		4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
30		4.6	4.5	4.6	4.6	4.5
31		4.6	4.5	4.6	4.6	4.5
32		4.5	4.4	4.5	4.6	4.5
33		4.5	4.3	4.5	4.6	4.4
34		4.5	4.3	4.5	4.6	4.4
35		4.4	4.2	4.5	4.5	4.3
36		4.4	4.2	4.4	4.5	4.3
37		4.4	4.1	4.4	4.5	4.2
38		4.4	4.0	4.4	4.5	4.2
39		4.3	4.0	4.4	4.5	4.1
40		4.3	3.9	4.3	4.5	4.1
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	5.4	4.8	5.5	7.2	0.0	
b=	-0.0	0.0	1.0	-0.1	-0.1	
c=		-0.0				
K=					5.4	
相関係数	0.726	0.727	0.726	0.725	0.727	
採用結果				○		

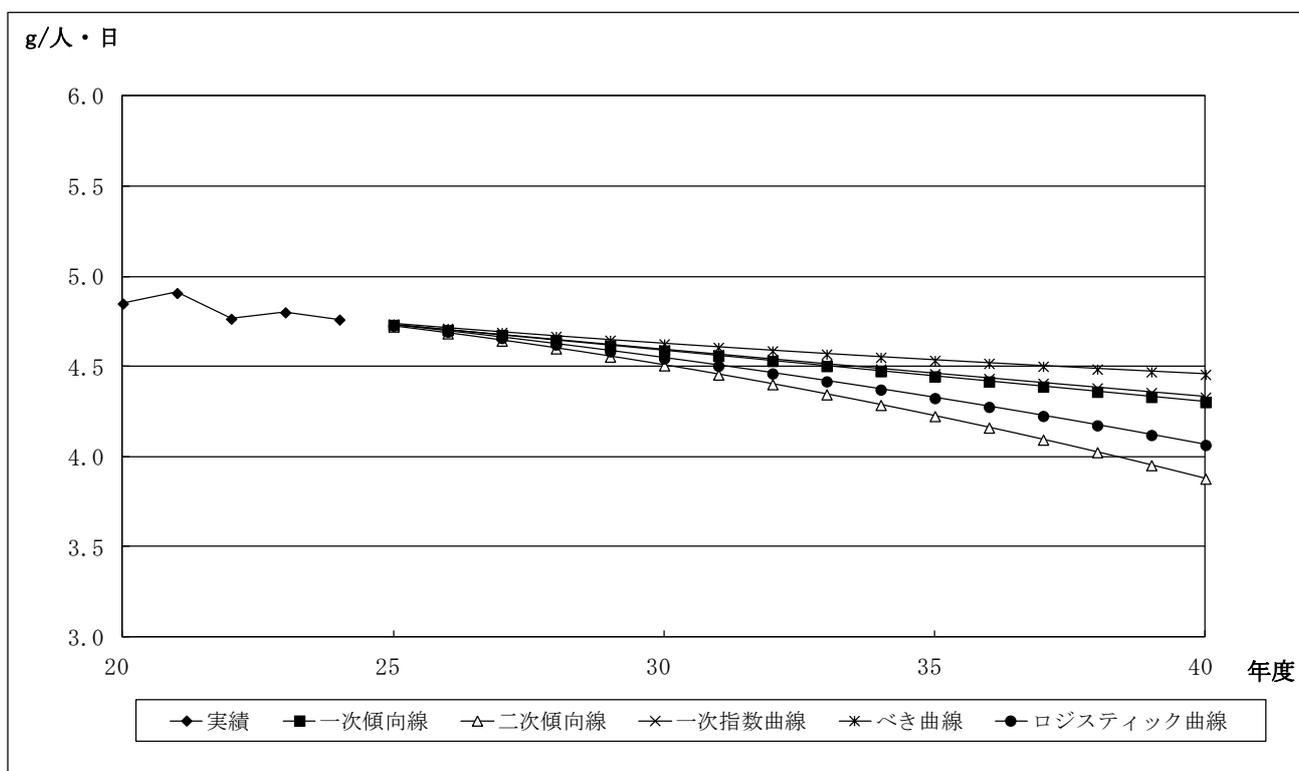
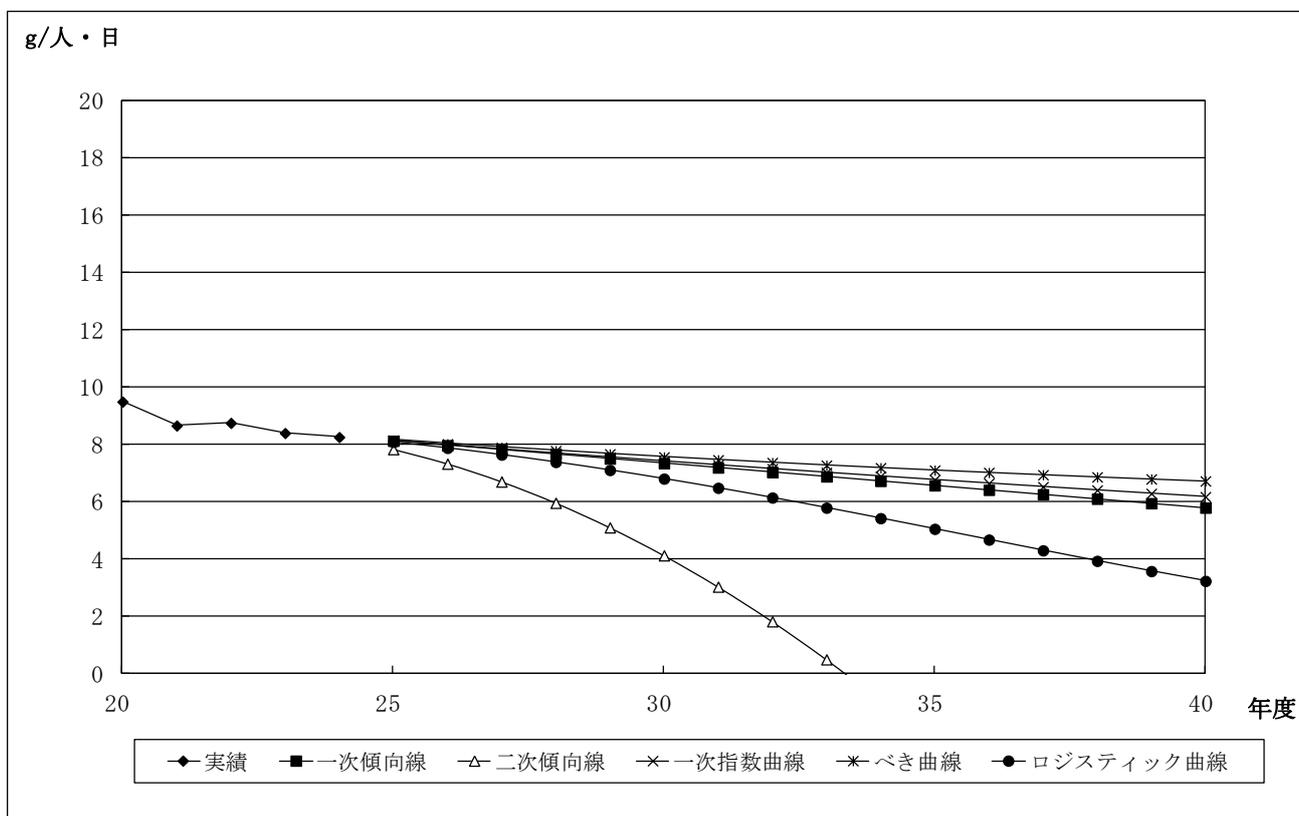


表 1-18 資源回収事業（古着）原単位（g/人・日）の推計（過去4年間実績より推計）

年度	集団回収（古着）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	9.5					
21	8.6					
22	8.7					
23	8.4					
24	8.2					
25		8.1	7.8	8.1	8.1	8.1
26		8.0	7.3	8.0	8.0	7.9
27		7.8	6.7	7.8	7.9	7.6
28		7.6	5.9	7.7	7.8	7.4
29		7.5	5.1	7.5	7.7	7.1
30		7.3	4.1	7.4	7.6	6.8
31		7.2	3.0	7.3	7.5	6.5
32		7.0	1.8	7.1	7.4	6.1
33		6.9	0.5	7.0	7.3	5.8
34		6.7	-1.0	6.9	7.2	5.4
35		6.6	-2.5	6.8	7.1	5.0
36		6.4	-4.2	6.6	7.0	4.7
37		6.2	-6.0	6.5	6.9	4.3
38		6.1	-7.9	6.4	6.9	3.9
39		5.9	-9.9	6.3	6.8	3.6
40		5.8	-12.1	6.2	6.7	3.2
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	14.7	47.2	17.2	72.2	0.0	
b=	-0.3	-3.2	1.0	-0.7	-0.2	
c=		0.1				
K=					10.4	
相関係数	0.880	0.902	0.878	0.873	0.892	
採用結果				○		



(3) 事業系ごみ排出量の予測

表 1-17 に示す過去 5 年間の実績値を用いて、事業系ごみ排出量の予測根拠を表 1-18 のように、推計結果を表 1-19～20 のように定めます。

表 1-17 予測に用いる実績値（事業系ごみ排出量（t/年））

単位：t/年

分別区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
燃やすごみ	許可収集(一般事業所)	1,782	1,529	1,614	1,533	1,493
	委託収集(公共施設)	80	34	35	40	53
不燃ごみ	許可収集(一般事業所)	11	20	0	0	0
	委託収集(公共施設)	5	4	4	1	0
資源ごみ	許可収集(一般事業所)	23	32	39	43	46
	委託収集(公共施設)	62	72	71	61	75

表 1-18 事業系ごみ排出量（t/年）の採用根拠

種類	採用式	採用根拠
事業系許可収集 燃やすごみ量	平成 24 年度実績 で一定推移	過去 5 年間の排出量は減少傾向となっています。 一方で、減少傾向にあった景気回復を見込んで、今後の予測値としては、多少の変動はあるものの、おおむね平成 24 年度実績 1,493 t で一定推移するものとします。
事業系委託収集 燃やすごみ量	5 年間平均値 で一定推移	過去 5 年間の排出量はばらつきが大きく、回帰式では予測がしづらくなっています。 今後、多少の増減はあるものの、おおむね過去 5 年間平均 48 t で一定推移するものとします。
事業系許可収集 不燃ごみ量	平成 24 年度実績 で一定推移	平成 22 年度以降で排出量は 0 となっており、今後も現状のまま推移することが予想されます。このことから、平成 24 年度実績 0 t で一定推移するものとします。
事業系委託収集 不燃ごみ量	平成 24 年度実績 で一定推移	平成 24 年度で排出量は 0 となっており、今後も現状のまま推移することが予想されます。このことから、平成 24 年度実績 0 t で一定推移するものとします。
事業系許可収集 資源ごみ量	ロジスティック曲線 【表 1-19 参照】	過去 5 年間の排出量は大きく増加傾向となっています。 今後の予測値としては、増加傾向が予測されるものの、ある程度で飽和すると考えられるため、最も相関係数の高い、ロジスティック曲線を採用します。
事業系委託収集 資源ごみ量	二次傾向線 【表 1-20 参照】	過去 5 年間の排出量はばらつきがあるものの、ほぼ同程度の数値を示しています。 今後の予測値としては、現状値と同程度で推移すると考えられるため、最も相関係数の高い、二次傾向線を採用します。

表 1-19 事業系許可収集資源ごみ（一般事業所）排出量（t/年）の推計

年度	事業系許可収集資源ごみ（一般事業所）排出量（t/年）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	23.0					
21	32.0					
22	39.0					
23	43.0					
24	46.0					
25		53.7	46.2	58.9	57.6	47.8
26		59.4	44.4	69.7	66.7	48.7
27		65.1	40.5	82.4	76.7	49.1
28		70.8	34.4	97.5	87.9	49.4
29		76.5	26.1	115.4	100.1	49.5
30		82.2	15.8	136.5	113.6	49.6
31		87.9	3.3	161.5	128.3	49.6
32		93.6	-11.4	191.1	144.4	49.7
33		99.3	-28.2	226.1	161.9	49.7
34		105.0	-47.1	267.5	180.9	49.7
35		110.7	-68.2	316.5	201.5	49.7
36		116.4	-91.5	374.4	223.8	49.7
37		122.1	-116.8	443.0	247.8	49.7
38		127.8	-144.3	524.1	273.6	49.7
39		133.5	-174.0	620.1	301.4	49.7
40		139.2	-205.8	733.7	331.1	49.7
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	-88.8	-605.2	0.9	0.0	619,086.9	
b=	5.7	52.8	1.2	3.7	0.7	
c=		-1.1				
K=					49.7	
相関係数	0.976	-0.893	0.950	0.961	0.991	
採用結果					○	

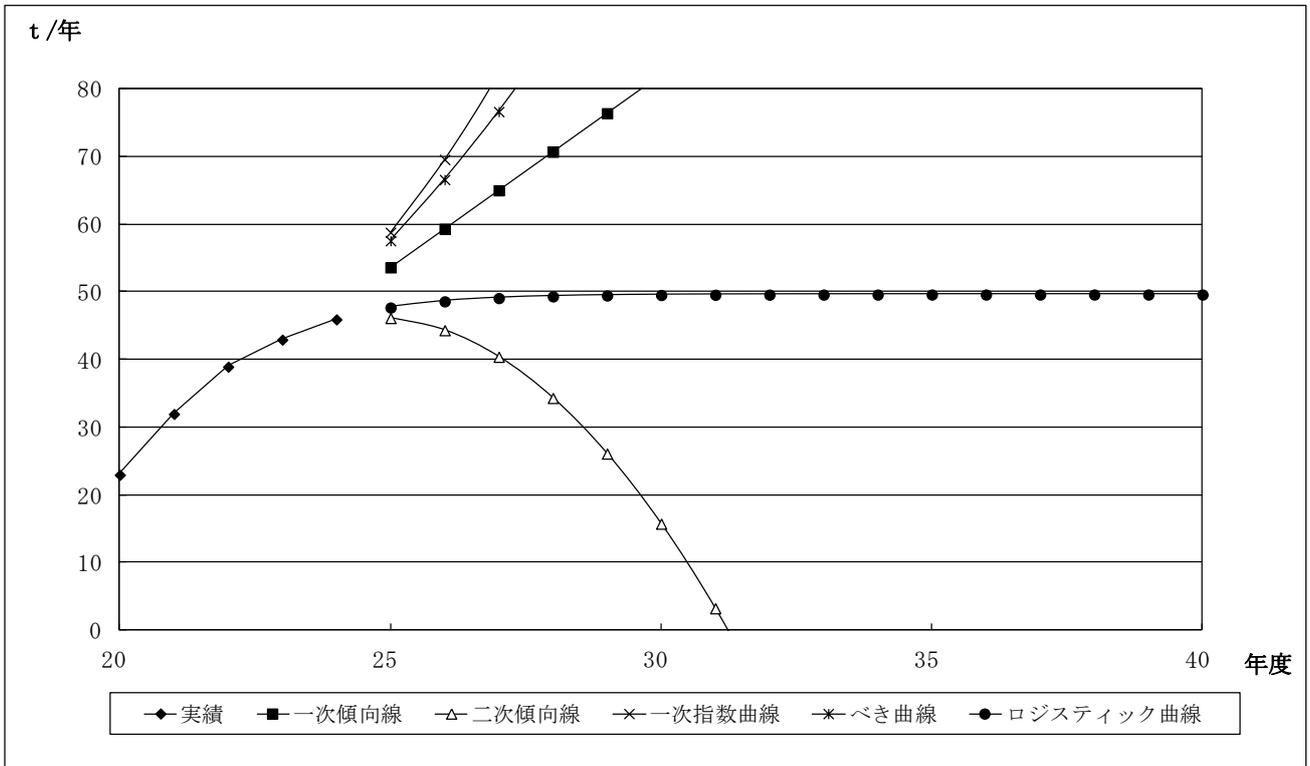
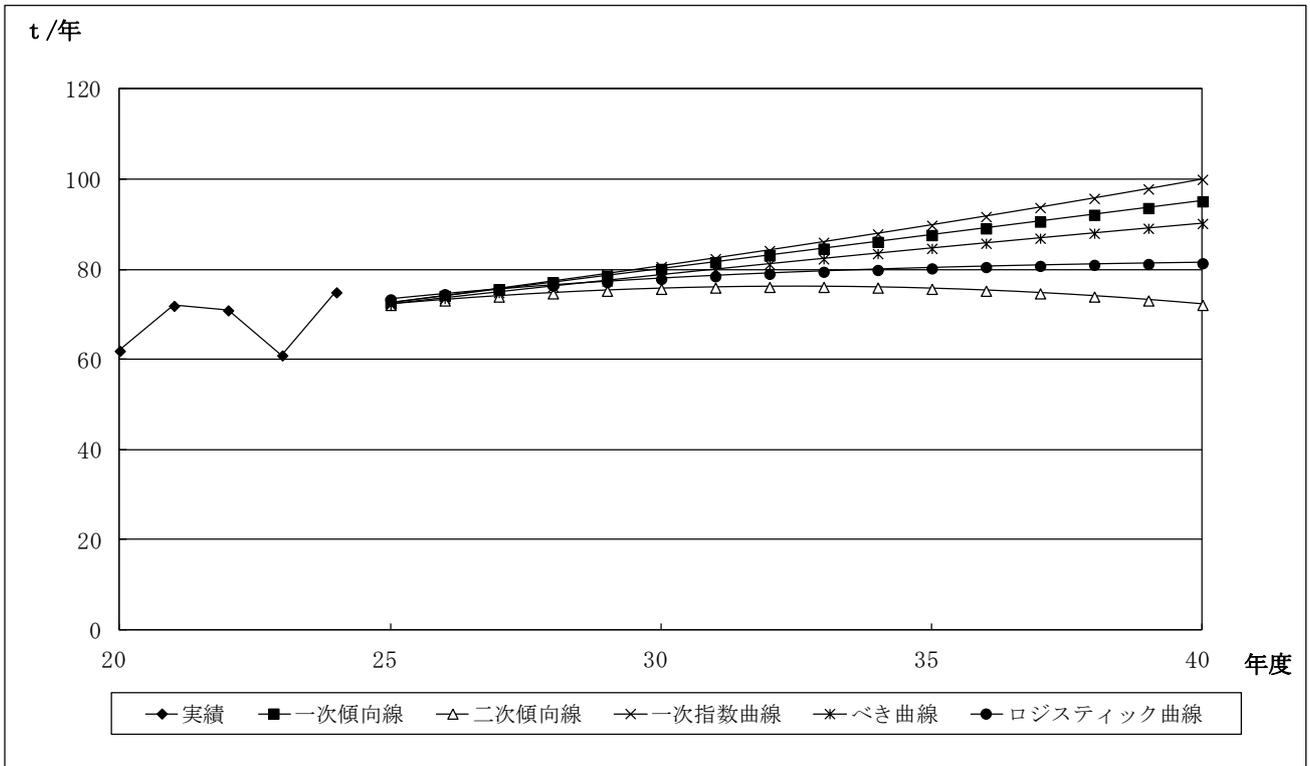


表 1-20 事業系委託収集資源ごみ（公共施設）排出量（t/年）の推計

年度	事業系委託収集資源ごみ（公共施設）排出量（t/年）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	62.0					
21	72.0					
22	71.0					
23	61.0					
24	75.0					
25		72.7	72.2	72.5	72.3	73.4
26		74.2	73.2	74.1	73.6	74.6
27		75.7	74.1	75.7	75.0	75.6
28		77.2	74.8	77.3	76.3	76.5
29		78.7	75.3	79.0	77.5	77.3
30		80.2	75.8	80.7	78.8	78.0
31		81.7	76.1	82.5	80.0	78.6
32		83.2	76.2	84.3	81.2	79.1
33		84.7	76.2	86.1	82.4	79.6
34		86.2	76.1	88.0	83.6	80.0
35		87.7	75.8	89.9	84.8	80.3
36		89.2	75.3	91.8	85.9	80.6
37		90.7	74.8	93.8	87.0	80.9
38		92.2	74.1	95.9	88.1	81.1
39		93.7	73.2	97.9	89.2	81.3
40		95.2	72.2	100.1	90.3	81.5
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	35.2	0.8	42.4	15.7	5.4	
b=	1.5	4.6	1.0	0.5	0.2	
c=		-0.1				
K=					82.5	
相関係数	0.376	0.377	0.376	0.377	0.379	
採用結果		○				



(4) 分別区分の変更

平成 26 年度より、プラスチック製容器包装を家庭系燃やすごみへ、白色トレイ・発泡スチロールをプラスチック製容器包装へと分別区分を変更し、表 1-21 のとおり推計結果から移行します。

表 1-21 事業系委託収集資源ごみ（公共施設）排出量（t/年）の推計

年度	プラスチック製品 (g/人・日)		燃やすごみ(g/人・日)						白色トレイ・発泡スチ ロール(g/人・日)		プラスチック製容器包装 (g/人・日)	
	移行前	移行後	移行前			移行後			移行前	移行後	移行前	移行後
			収集	自己搬入	計	収集	自己搬入	計				
25	4.7	4.7	353.4	0.1	353.5	353.4	0.1	353.5	0.7	0.7	18.3	18.3
26	4.7	0	356.1	0.1	356.2	360.8	0.1	360.9	0.7	0	18.3	18.9
27	4.7	0	358.8	0.1	358.9	363.5	0.1	363.6	0.7	0	18.3	18.9
28	4.7	0	361.5	0.1	361.6	366.2	0.1	366.3	0.7	0	18.3	18.9
29	4.6	0	364.3	0.1	364.3	368.9	0.1	369.0	0.7	0	18.3	18.9
30	4.6	0	367.0	0.1	367.1	371.7	0.1	371.7	0.7	0	18.3	18.9
31	4.6	0	369.8	0.1	369.9	374.4	0.1	374.5	0.7	0	18.3	18.9
32	4.6	0	372.6	0.1	372.7	377.2	0.1	377.3	0.7	0	18.3	18.9
33	4.6	0	375.4	0.1	375.5	380.0	0.1	380.1	0.7	0	18.3	18.9
34	4.6	0	378.3	0.1	378.3	382.8	0.1	382.9	0.7	0	18.3	18.9
35	4.5	0	381.2	0.1	381.2	385.7	0.1	385.7	0.7	0	18.3	18.9
36	4.5	0	384.0	0.1	384.1	388.6	0.1	388.6	0.7	0	18.3	18.9
37	4.5	0	387.0	0.1	387.0	391.5	0.1	391.5	0.7	0	18.3	18.9
38	4.5	0	389.9	0.1	389.9	394.4	0.1	394.4	0.7	0	18.3	18.9
39	4.5	0	392.8	0.1	392.9	397.3	0.1	397.4	0.7	0	18.3	18.9
40	4.5	0	395.8	0.1	395.9	400.3	0.1	400.3	0.7	0	18.3	18.9
備考	A		B	C	D=B+C	E=B+A(B/D)	F=C+B(C/D)	G=E+F	H		I	J=H+I

(5) 総排出量の予測結果（現況推移ケース）

以上予測した結果をまとめると、図 1-2 及び表 1-22～23 に示すとおりとなります。

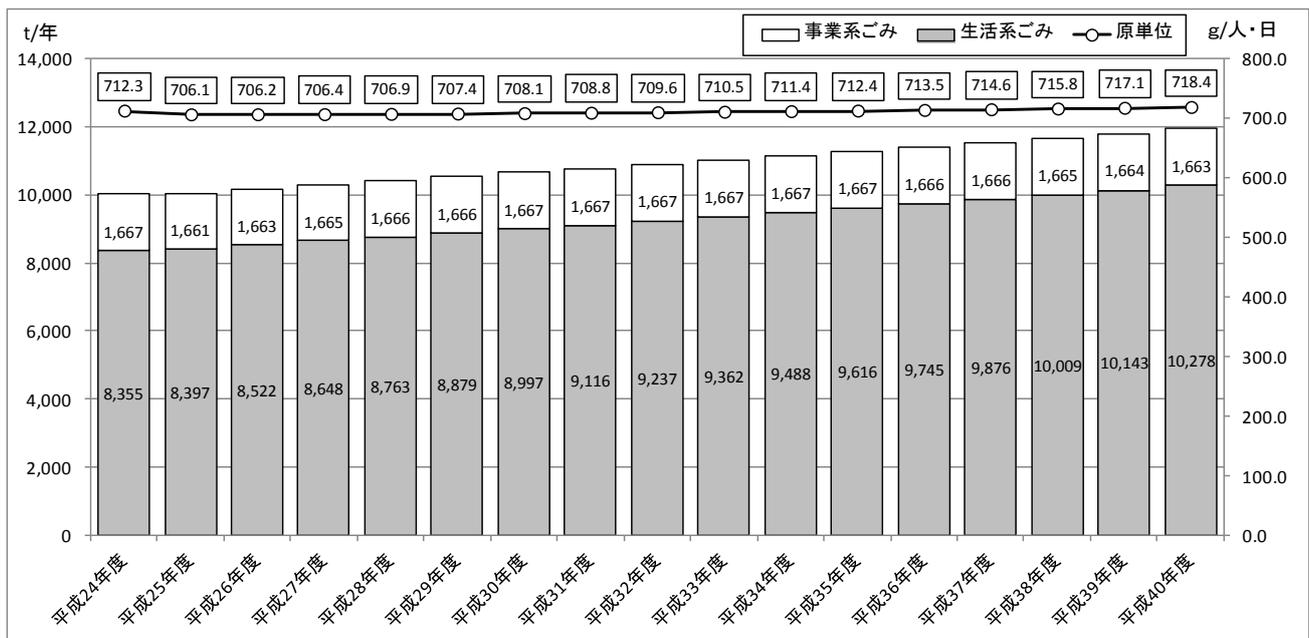


図 1-2 ごみ排出量及び原単位の予測結果（現況推移ケース）

表 1-22 ごみ排出量原単位(g/人・日)の推計(現況推移ケース)

区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	備考	
(1) 収集人口	(人)	38,543	39,029	39,514	40,000	40,420	40,840	41,260	41,680	42,100	42,530	42,960	43,390	43,820	44,250	44,680	45,110	45,540	都市計画マスタープラン	
(2) 総排出量	(t/年)	10,021	10,058	10,185	10,313	10,428	10,545	10,663	10,783	10,904	11,029	11,155	11,283	11,412	11,542	11,674	11,807	11,942	(3)+(4)	
	(g/人・日)	712.3	706.1	706.2	706.4	706.9	707.4	708.1	708.8	709.6	710.5	711.4	712.4	713.5	714.6	715.8	717.1	718.4	上記数値/((1)×365)×10 ⁶	
(3) 家庭系ごみ合計	(t/年)	8,355	8,397	8,522	8,648	8,763	8,879	8,997	9,116	9,237	9,362	9,488	9,616	9,745	9,876	10,009	10,143	10,278	下記数値×(1)×365/10 ⁶	
	(g/人・日)	593.9	589.4	590.9	592.4	594.0	595.6	597.4	599.2	601.1	603.1	605.1	607.2	609.3	611.5	613.7	616.0	618.3	Σ(3a~c)	
(3a) 収集ごみ	(g/人・日)	478.0	473.5	475.0	476.7	478.4	480.2	482.0	484.0	486.0	488.0	490.1	492.3	494.5	496.8	499.1	501.4	503.8	Σ(3a-1~5)	
(3a-1) 燃やすごみ	(g/人・日)	356.1	353.4	360.8	363.5	366.2	368.9	371.7	374.4	377.2	380.0	382.8	385.7	388.6	391.5	394.4	397.3	400.3	一次指数曲線+プラスチック製品移行分	
(3a-2) 不燃ごみ	(g/人・日)	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	Σ(3a-2-1~2)	
(3a-2-1) 陶磁器・ガラス	(g/人・日)	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	H24年度実績一定推移	
(3a-2-2) その他不燃ごみ	(g/人・日)	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	3年平均	
(3a-3) 資源ごみ	(g/人・日)	83.8	82.5	76.7	75.6	74.7	73.8	72.9	72.1	71.3	70.6	69.9	69.2	68.6	68.0	67.4	66.8	66.3	Σ(3a-3-1~12)	
(3a-3-1) 生きびん	(g/人・日)	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	べき曲線	
(3a-3-2) その他びん	(g/人・日)	17.0	16.6	16.3	16.0	15.8	15.5	15.3	15.1	14.8	14.6	14.4	14.3	14.1	13.9	13.7	13.6	13.4	べき曲線	
(3a-3-3) 飲食用缶	(g/人・日)	4.2	4.0	3.8	3.7	3.5	3.4	3.3	3.2	3.0	2.9	2.8	2.8	2.7	2.6	2.5	2.4	2.4	べき曲線	
(3a-3-4) ペットボトル	(g/人・日)	6.8	7.0	6.8	6.7	6.5	6.4	6.3	6.2	6.1	6.0	5.9	5.8	5.7	5.6	5.5	5.4	5.4	べき曲線	
(3a-3-5) プラスチック製容器包装	(g/人・日)	18.3	18.3	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	18.9	H24年度実績一定推移+白色トレイ・発泡スチロール移行分	
(3a-3-6) 白色トレイ・発泡スチロール	(g/人・日)	0.6	0.7																5年平均(プラスチック製容器包装へ移行)	
(3a-3-7) ミックスペーパー	(g/人・日)	21.6	21.0	20.6	20.3	20.0	19.7	19.4	19.1	18.8	18.6	18.3	18.1	17.9	17.6	17.4	17.2	17.0	べき曲線	
(3a-3-8) その他のアルミ	(g/人・日)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	5年平均	
(3a-3-9) その他金属	(g/人・日)	2.9	2.8	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.0	べき曲線	
(3a-3-10) プラスチック製品	(g/人・日)	4.8	4.7																べき曲線(燃えるごみへ移行)	
(3a-3-11) 生ごみ(里・逆川)	(g/人・日)	0.7	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	5年平均の半数	
(3a-3-12) 拠点回収	(g/人・日)	5.7	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	Σ(3a-3-12-1~4)	
(3a-3-12-1) 古紙	(g/人・日)	4.5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	2年平均	
(3a-3-12-2) 古着	(g/人・日)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	3年平均	
(3a-3-12-3) アルミ缶	(g/人・日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3年平均	
(3a-3-12-4) 小型家電	(g/人・日)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	H24年度実績一定推移	
(3a-4) 危険・有害ごみ	(g/人・日)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	Σ(3a-4-1~3)	
(3a-4-1) スプレー缶	(g/人・日)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	5年平均	
(3a-4-2) 蛍光灯	(g/人・日)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	3年平均	
(3a-4-3) 乾電池	(g/人・日)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	べき曲線	
(3a-5) 粗大ごみ	(g/人・日)	28.9	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.3	28.3	28.3	28.3	28.3	Σ(3a-5-1~3)	
(3a-5-1) 可燃ごみ	(g/人・日)	18.8	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.3	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	べき曲線	
(3a-5-2) 不燃ごみ	(g/人・日)	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	H24年度実績一定推移	
(3a-5-3) 資源ごみ	(g/人・日)	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	H24年度実績一定推移	
(3b) 直接搬入ごみ	(g/人・日)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	Σ(3b-1~2)	
(3b-1) 可燃ごみ	(g/人・日)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	5年平均+プラスチック製品移行分	
(3b-2) 不燃ごみ	(g/人・日)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	H24年度実績一定推移	
(3c) 資源回収事業	(g/人・日)	115.9	115.9	115.7	115.6	115.5	115.4	115.3	115.2	115.1	115.0	114.9	114.8	114.7	114.7	114.6	114.5	114.5	Σ(3c-1~4)	
(3c-1) 古紙	(g/人・日)	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	106.8	H24年度実績一定推移
(3c-2) 古着	(g/人・日)	8.2	8.1	8.0	7.9	7.8	7.7	7.6	7.5	7.4	7.3	7.2	7.1	7.0	6.9	6.9	6.8	6.7	べき曲線	
(3c-3) アルミ缶	(g/人・日)	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	5年平均	
(3c-4) スチール缶	(g/人・日)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	H24年度実績一定推移	
(4) 事業系ごみ合計	(t/年)	1,667	1,661	1,663	1,665	1,666	1,666	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,666	1,666	1,665	1,664	1,663 (4a)	
	(t/日)	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6 (4a)/365	
(4a) 収集ごみ	(t/年)	1,667	1,661	1,663	1,665	1,666	1,666	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,666	1,666	1,665	1,664	1,663	Σ(4a-1~2)
(4a-1) 許可(一般事業所)	(t/年)	1,539	1,541	1,542	1,542	1,542	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	Σ(4a-1-1~3)
(4a-1-1) 可燃ごみ	(t/年)	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	H24年度実績一定推移
(4a-1-2) 不燃ごみ	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	H24年度実績一定推移
(4a-1-3) 資源ごみ	(t/年)	46	48	49	49	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	ロジスティック曲線
(4a-2) 委託(公共施設)	(t/年)	127	121	122	122	123	124	124	124	125	125	124	124	124	123	122	122	121	121	Σ(4a-2-1~3)
(4a-2-1) 可燃ごみ	(t/年)	53	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	5年平均
(4a-2-2) 不燃ごみ	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	H24年度実績一定推移
(4a-2-3) 資源ごみ	(t/年)	75	72	73	74	75	75	76	76	76	76	76	76	75	75	74	73	72	72	二次傾向線

注1) 数値は四捨五入のため、合計値が一致しない場合があります。

注2) 拠点回収のスチール缶は平成25年4月1日からの開始で実績値がないため、現況推移ケースには考慮しないものとします。

表 1-23 ごみ排出量 (t/年) の推計 (現況推移ケース) (表 1-30 へ続く)

区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	備考
(1) 収集人口	(人)	38,543	39,029	39,514	40,000	40,420	40,840	41,260	41,680	42,100	42,530	42,960	43,390	43,820	44,250	44,680	45,110	45,540	都市計画マスタープラン
(2) 総排出量	(t/年)	10,021	10,058	10,185	10,313	10,428	10,545	10,663	10,783	10,904	11,029	11,155	11,283	11,412	11,542	11,674	11,807	11,942	
	(g/人・日)	712.3	706.1	706.2	706.4	706.9	707.4	708.1	708.8	709.6	710.5	711.4	712.4	713.5	714.6	715.8	717.1	718.4	
	(g/人・日)	504.0	499.3	505.3	506.7	508.2	509.9	511.5	513.2	515.0	516.7	518.6	520.4	522.3	524.3	526.2	528.3	530.3	
(3) 家庭系ごみ合計	(t/年)	8,355	8,397	8,522	8,648	8,763	8,879	8,997	9,116	9,237	9,362	9,488	9,616	9,745	9,876	10,009	10,143	10,278	
	(g/人・日)	593.9	589.4	590.9	592.4	594.0	595.6	597.4	599.2	601.1	603.1	605.1	607.2	609.3	611.5	613.7	616.0	618.3	
(3a) 収集ごみ	(t/年)	6,723	6,745	6,851	6,960	7,058	7,158	7,259	7,363	7,467	7,576	7,685	7,796	7,909	8,023	8,139	8,256	8,375	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-1) 燃やすごみ	(t/年)	5,010	5,035	5,204	5,307	5,403	5,499	5,597	5,696	5,796	5,899	6,003	6,108	6,215	6,323	6,432	6,542	6,653	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-2) 不燃ごみ	(t/年)	107	109	110	111	113	114	115	116	117	118	120	121	122	123	124	126	127	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-2-1) 陶磁器・ガラス	(t/年)	68	69	70	71	71	72	73	74	74	75	76	77	77	78	79	80	80	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-2-2) その他不燃ごみ	(t/年)	39	40	40	41	41	42	42	43	43	43	44	44	45	45	46	46	47	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3) 資源ごみ	(t/年)	1,179	1,175	1,106	1,104	1,102	1,100	1,098	1,097	1,096	1,096	1,096	1,097	1,097	1,098	1,099	1,101	1,102	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-1) 生きびん	(t/年)	13	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-2) その他びん	(t/年)	239	237	235	234	233	232	230	229	228	227	226	226	225	224	224	223	223	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-3) 飲料缶	(t/年)	59	57	55	54	52	51	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-4) ペットボトル	(t/年)	96	99	98	97	97	96	95	94	93	93	92	92	91	91	90	90	89	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-5) プラスチック製容器包装	(t/年)	257	260	273	276	279	282	285	288	291	294	297	300	303	306	309	312	315	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-6) 白色トレイ・発泡スチロール	(t/年)	9	9																原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-7) ミックスペーパー	(t/年)	304	299	298	296	295	293	292	290	289	288	287	286	286	285	284	284	283	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-8) その他のアルミ	(t/年)	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-9) その他金属	(t/年)	41	39	39	38	38	38	37	37	36	36	36	35	35	35	34	34	34	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-10) プラスチック製品	(t/年)	67	67																原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-11) 生ごみ (里・逆川)	(t/年)	10	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-12) 拠点回収	(t/年)	79	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	95	96	97	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-12-1) 古紙	(t/年)	64	67	68	68	69	70	71	71	72	73	73	74	75	76	76	77	78	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-12-2) 古着	(t/年)	12	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	15	15	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-12-3) アルミ缶	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-3-12-4) 小型家電	(t/年)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-4) 危険・有害ごみ	(t/年)	21	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21	22	22	22	22	22	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-4-1) スプレー缶	(t/年)	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-4-2) 蛍光灯	(t/年)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-4-3) 乾電池	(t/年)	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-5) 粗大ごみ	(t/年)	407	405	410	415	419	423	428	432	436	440	445	449	453	458	462	466	471	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-5-1) 可燃ごみ	(t/年)	264	261	264	267	270	273	275	278	281	284	286	289	292	295	297	300	303	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-5-2) 不燃ごみ	(t/年)	37	37	37	38	38	39	39	40	40	40	41	41	42	42	42	43	43	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3a-5-3) 資源ごみ	(t/年)	106	107	108	110	111	112	113	114	115	116	118	119	120	121	122	123	125	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3b) 直接搬入ごみ	(t/年)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3b-1) 可燃ごみ	(t/年)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3b-2) 不燃ごみ	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3c) 資源回収事業	(t/年)	1,631	1,651	1,669	1,688	1,704	1,720	1,736	1,752	1,769	1,785	1,802	1,819	1,835	1,852	1,869	1,886	1,902	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3c-1) 古紙	(t/年)	1,502	1,521	1,540	1,559	1,576	1,592	1,608	1,625	1,641	1,658	1,675	1,691	1,708	1,725	1,742	1,758	1,775	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3c-2) 古着	(t/年)	116	116	116	115	115	114	114	113	113	113	113	112	112	112	112	112	112	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3c-3) アルミ缶	(t/年)	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	原単位×(1)×365/10 ⁶
(3c-4) スチール缶	(t/年)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	原単位×(1)×365/10 ⁶
(4) 事業系ごみ合計	(t/年)	1,667	1,661	1,663	1,665	1,666	1,666	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,666	1,666	1,665	1,664	1,663	
	(t/日)	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	
(4a) 収集ごみ	(t/年)	1,667	1,661	1,663	1,665	1,666	1,666	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,666	1,666	1,665	1,664	1,663	
(4a-1) 許可 (一般事業所)	(t/年)	1,539	1,541	1,542	1,542	1,542	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	
(4a-1-1) 可燃ごみ	(t/年)	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	
(4a-1-2) 不燃ごみ	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4a-1-3) 資源ごみ	(t/年)	46	48	49	49	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
(4a-2) 委託 (公共施設)	(t/年)	127	121	122	122	123	124	124	124	125	125	124	124	124	123	122	122	121	
(4a-2-1) 可燃ごみ	(t/年)	53	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	
(4a-2-2) 不燃ごみ	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4a-2-3) 資源ごみ	(t/年)	75	72	73	74	75	75	76	76	76	76	76	76	75	75	74	73	72	

注1) 数値は四捨五入のため、合計値が一致しない場合があります。
 注2) 拠点回収のスチール缶は平成25年4月1日からの開始で実績値がないため、現況推移ケースには考慮しないものとします。
 ※処理しなければならないごみの一人一日当たりの量=(ごみ総排出量-資源ごみ量-資源回収事業量)÷総人口÷365日
 (ここでいう「資源ごみ量」は、収集時に資源ごみとして回収するものとして、粗大ごみ中の資源ごみは除きます。)

(6) 処理量の予測結果（現況推移ケース）

ア. 焼却処理量の予測

①可燃ごみ

焼却対象の可燃ごみは、生活系収集及び自己搬入、生活系粗大（可燃ごみ）、事業系許可収集（一般事業所）及び委託収集（公共施設）の5区分となっています。

これら5区分の排出量合計値と、岡崎市焼却施設による焼却処理実績値を比較すると、表 1-24 のとおり過去4年間（平成20～24年度）において同じ数値となっています。

表 1-24 可燃ごみ排出量と焼却処理量（可燃ごみ）の比率

単位：t/年

分別区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
A. 可燃合計		6,839	6,449	6,566	6,679	6,821
生活系	収集	4,715	4,646	4,664	4,852	5,010
	直接搬入	1	2	0	0	1
	可燃粗大	261	238	253	254	264
事業系	一般事業所	1,782	1,529	1,614	1,533	1,493
	公共施設	80	34	35	40	53
B. 焼却処理量実績（可燃ごみ）		-	6,449	6,566	6,679	6,820
比率(B/A)		-	1.00	1.00	1.00	1.00
					平均値	1.00

このことから、焼却処理量（可燃ごみ）の将来推計は、以下のように推計することとします。

$$\text{焼却処理量（可燃ごみ）} = \{(\text{生活系収集可燃}) + (\text{生活系直接搬入可燃}) + (\text{生活系粗大（可燃ごみ）}) + (\text{事業系許可収集可燃（一般事業所分）}) + (\text{事業系委託収集可燃（公共施設分）})\}$$

②破砕可燃

破砕可燃の焼却処理量は、概ね不燃ごみ（事業系はほぼ0tのため除く）に含まれる可燃分と考えられ、その割合は表 1-25 のとおりです。

表 1-25 不燃ごみ排出量と焼却処理量（破砕可燃）の比率

単位：t/年

分別区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
A. 不燃合計		118	112	108	94	76
生活系	収集不燃	38	47	41	37	39
	不燃粗大	80	65	67	57	37
B. 焼却処理量実績（破砕可燃）		-	68	66	54	43
比率(B/A)		-	0.61	0.61	0.57	0.57
					平均値	0.59

このことから、焼却処理量（破砕可燃）の将来推計は、以下のように推計することとします。

$$\text{焼却処理量（可燃ごみ）} = (\text{不燃ごみ排出量}) \times 0.59$$

③灰溶融

灰溶融は岡崎市八帖クリーンセンターから搬入されるものであり、幸田町の焼却処理は岡崎市中心クリーンセンターへ一本化することから、今後の排出量には含まないものとします。

イ. 最終処分量の予測

①焼却灰

焼却灰の最終処分量は表 1-26 のとおり、岡崎市中心クリーンセンターにおける溶融炉が本格稼働を始めた平成 23 年度以降で大きく減少しています。

表 1-26 焼却処理量と焼却灰の比率

分別区分	単位：t/年				
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
A. 焼却処理量	6,839	6,517	6,663	6,736	6,865
B. 焼却灰	1,362	962	919	305	265
比率(B/A)	0.20	0.15	0.14	0.05	0.04
				平均値	0.04

このことから、焼却灰の将来推計は、平成 23 年度以降の焼却処理量に対する焼却灰の最終処分量をもとに、以下のように推計することとします。

$$\text{焼却灰} = (\text{焼却処理量}) \times 0.04$$

②破碎不燃

破碎不燃の最終処分量は、概ね不燃ごみ（事業系はほぼ 0 t のため除く）に含まれる不燃分と考えられ、その割合は表 1-27 のとおりです。

表 1-27 不燃ごみ排出量と破碎不燃最終処分量の比率

分別区分	単位：t/年					
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
A. 不燃合計	118	112	108	94	76	
生活系	収集不燃	38	47	41	37	39
	不燃粗大	80	65	67	57	37
B. 破碎不燃	55	55	55	57	49	
比率(B/A)	0.47	0.49	0.51	0.61	0.64	
				平均値	0.54	

このことから、破碎不燃最終処分量の将来推計は、以下のように推計することとします。

$$\text{破碎不燃} = (\text{不燃ごみ排出量}) \times 0.54$$

③陶磁器・ガラス

陶磁器・ガラスは幸田町一般廃棄物最終処分場にて処分されており、収集量に対する最終処分量は表 1-28 のとおりです。平成 23 年度以降では収集量よりも最終処分量が多くなっていますが、これは資源として回収している分別品目を選別処理した後、資源化対象外となる残渣が増加するためと考えられます。

表 1-28 不燃ごみ排出量と破碎不燃最終処分量の比率

分別区分	単位：t/年				
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
A. 収集量	75	81	77	74	68
B. 最終処分量	71	73	74	78	74
比率(B/A)	0.95	0.90	0.96	1.05	1.09
				平均値	1.07

陶磁器・ガラスの最終処分量の将来推計は、平成 23 年度以降の収集量に対する最終処分量の割合をもとに、以下のように推計することとします。

$$\text{陶磁器・ガラス（最終処分量）} = (\text{陶磁器・ガラス（収集量）}) \times 1.07$$

ウ. 資源化量の予測

資源化量の将来予測は、過去 5 年間の家庭系資源排出量に対する資源化量の平均比率（過去 5 年間の実績が不明な場合は把握可能な年度からの平均比率）を将来予測した各年度の家庭系資源排出量に乗じることで推計することとします。

$$\text{資源化量} = (\text{家庭系資源排出量}) \times (\text{過去の家庭系資源排出量と資源化量の比率平均})$$

なお、小型家電の資源化処理量は、実績値が平成 24 年度分のみであるため、今後も一定で推移するものとし、廃食用油の資源化量は過去 4 年間同様 3 t で一定推移するものとし、

過去 5 年間の家庭系資源排出量と資源化処理量の割合の推移は表 1-29 のとおりです。

表 1-29 家庭系資源排出量と資源化量の割合の推移

区分		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接資源化	古紙類	A. 排出量 (t/年)	-	-	378	370	368	生活系収集+拠点回収
		B. 処理量 (t/年)	131	431	419	398	413	
		処理率(B/A)	-	-	1.11	1.08	1.12	平均比率 : 1.1
	布類	A. 排出量 (t/年)	-	-	13	12	12	拠点回収
		B. 処理量 (t/年)	11	11	13	12	12	
		処理率(B/A)	-	-	1.00	1.00	1.00	平均比率 : 1
	びん類	A. 排出量 (t/年)	15	13	13	13	13	生活系収集(生きびん)
		B. 処理量 (t/年)	15	13	13	13	13	
		処理率(B/A)	-	1.00	1.00	1.00	1.00	平均比率 : 1
中間処理後資源化	缶類	A. 排出量 (t/年)	70	66	65	61	59	生活系収集
		B. 処理量 (t/年)	70	63	58	56	54	
		処理率(B/A)	-	1.00	0.95	0.89	0.92	0.92
	金属類	A. 排出量 (t/年)	207	196	178	169	158	生活系収集※1
		B. 処理量 (t/年)	208	231	211	193	177	
		処理率(B/A)	-	1.00	1.18	1.19	1.14	1.12
	びん類	A. 排出量 (t/年)	252	243	245	240	239	生活系収集(ワンウェイびん)
		B. 処理量 (t/年)	252	244	246	241	240	
		処理率(B/A)	-	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	ペットボトル	A. 排出量 (t/年)	104	105	109	104	96	生活系収集
		B. 処理量 (t/年)	105	102	103	94	96	
		処理率(B/A)	-	1.01	0.97	0.94	0.90	1.00
	プラスチック製容器包装	A. 排出量 (t/年)	282	269	264	260	257	生活系収集
		B. 処理量 (t/年)	281	271	258	251	259	
		処理率(B/A)	-	1.00	1.01	0.98	0.97	1.01
	白色トレイ・発泡スチロール	A. 排出量 (t/年)	10	9	9	9	9	生活系収集
		B. 処理量 (t/年)	10	10	9	9	9	
		処理率(B/A)	-	1.00	1.11	1.00	1.00	1.00
	乾電池	A. 排出量 (t/年)	11	12	11	11	10	生活系収集
		B. 処理量 (t/年)	11	15	10	11	11	
		処理率(B/A)	-	1.00	1.25	0.91	1.00	1.10
蛍光管	A. 排出量 (t/年)	5	5	4	4	4	生活系収集	
	B. 処理量 (t/年)	5	4	4	4	5		
	処理率(B/A)	-	1.00	0.80	1.00	1.00	1.25	平均比率 : 1.01
プラスチック製品	A. 排出量 (t/年)	66	67	66	67	67	生活系収集	
	B. 処理量 (t/年)	66	67	66	67	67		
	処理率(B/A)	-	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	平均比率 : 1
肥料・飼料	A. 排出量 (t/年)	96	115	120	114	131	生活系収集量+事業系収集※2	
	B. 処理量 (t/年)	38	42	56	58	61		
	処理率(B/A)	-	-	0.37	0.47	0.51	0.47	平均比率 : 0.45
スラグ・メタル	A. 排出量 (t/年)	6,839	6,517	6,663	6,736	6,865	可燃ごみ焼却処理量	
	B. 処理量 (t/年)	-	-	5	761	833	年間をとおして回収しているのは平成23年度から	
	処理率(B/A)	-	-	-	0.11	0.12	平均比率 : 0.12	

※1 金属類の排出量=生活系収集((その他のアルミ)+(その他金属)+(スプレー缶)+(粗大資源ごみ))

※2 生ごみは生活系収集のほか、事業系資源の排出量の中にも含まれていることから、これらの合計と処理量の比率により求める

注) 処理量が排出量を超過している分別項目がありますが、収集後保管期間の経過により年度をまたいで処理されている場合、中間処理施設による選別後に資源として加算されている場合等が考えられます。

エ. 処理量総括

以上の結果から、処理量を予測すると図 1-3 及び表 1-30 に示すとおりとなります。

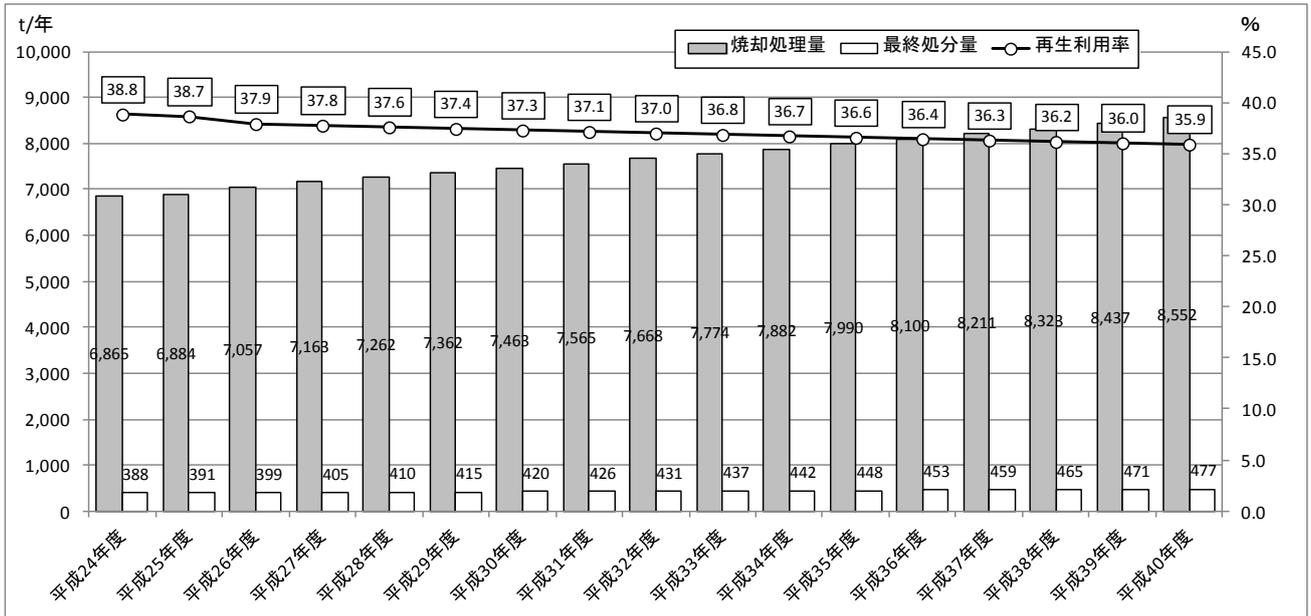


図 1-3 ごみ処理量の推計（現況推移ケース）

表 1-30 ごみ処理量の推計（現況推移ケース）（表 1-23 からの続き）

区 分		単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	備考		
処 理 内 訳	(5) 焼却処理量	(t/年)	6,865	6,884	7,057	7,163	7,262	7,362	7,463	7,565	7,668	7,774	7,882	7,990	8,100	8,211	8,323	8,437	8,552	Σ(5a~c)		
	焼却処理率	(%)	68.5	68.4	69.3	69.5	69.6	69.8	70.0	70.2	70.3	70.5	70.7	70.8	71.0	71.1	71.3	71.5	71.6	71.6	(上記)/(2)×100	
	(5a) 可燃ごみ	(t/年)	6,820	6,838	7,011	7,117	7,215	7,314	7,415	7,517	7,619	7,725	7,832	7,940	8,049	8,159	8,271	8,384	8,499	8,499	(3a-1)+(3a-5-1)+(3b-1) +(4a-1-1)+(4a-2-1)	
	(5b) 破砕可燃	(t/年)	43	45	46	47	47	47	47	48	48	49	49	50	50	51	51	52	52	53	53	((3a-2-2)+(3a-5-2))×0.59
	(5c) 灰溶融	(t/年)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 t で一定推移
内 訳	(6) 最終処分量	(t/年)	388	391	399	405	410	415	420	426	431	437	442	448	453	459	465	471	477	477	Σ(6a~b)	
	最終処分率	(%)	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	(上記)/(2)×100
	(6a) 岡崎市最終処分場	(t/年)	314	317	324	329	333	338	342	347	352	356	361	366	371	376	380	385	391	391	Σ(6a-1~2)	
	(6a-1) 焼却灰	(t/年)	265	275	282	287	290	294	299	303	307	311	315	320	324	328	333	337	342	342	342	(5)×0.04
	(6a-2) 破砕不燃	(t/年)	49	42	42	43	43	43	44	44	45	45	46	46	47	47	48	48	48	48	48	((3a-2-2)+(3a-5-2))×0.54
	(6b) 幸田町最終処分場	(t/年)	74	74	75	76	76	77	78	79	79	80	81	82	83	84	84	85	85	86	86	(6b-1)
(6b-1) 陶磁器・ガラス	(t/年)	74	74	75	76	76	77	78	79	79	80	81	82	83	84	84	85	85	86	86	(3a-2-1)×1.07	
資 源 化 内 訳	(7) 資源化量	(t/年)	3,893	3,889	3,861	3,894	3,920	3,948	3,976	4,004	4,033	4,064	4,095	4,126	4,158	4,190	4,222	4,255	4,288	4,288	Σ(7a~c)	
	(7a) 直接資源化量	(t/年)	441	431	430	429	428	427	426	425	425	424	424	424	424	424	424	424	424	424	424	Σ(7a-1~4)
	(7a-1) 廃食用油	(t/年)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4年平均
	(7a-2) 古紙類	(t/年)	413	403	402	401	400	399	398	398	397	397	397	397	397	396	396	397	397	397	397	((3a-3-7)+(3a-3-12-1))×1.1
	(7a-3) 布類	(t/年)	12	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	15	15	15	(3a-3-12-2)
	(7a-4) ひん類	(t/年)	13	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	(3a-3-1)
	(7b) 中間処理後資源化量	(t/年)	1,821	1,808	1,762	1,776	1,788	1,801	1,814	1,814	1,827	1,840	1,854	1,869	1,883	1,898	1,914	1,929	1,945	1,961	1,961	Σ(7b-1~12)
	(7b-1) 缶類	(t/年)	54	54	52	50	49	48	46	45	44	43	42	41	40	39	38	38	38	37	37	((3a-3-3)+(3a-3-12-3))×0.94
	(7b-2) 金属類	(t/年)	177	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	191	192	193	194	194	195	195	((3a-3-8)+(3a-3-9)+(3a-4-1)+(3a-5-3))×1.13
	(7b-3) ひん類	(t/年)	240	237	235	234	233	232	230	229	228	227	226	226	225	224	224	224	223	223	223	(3a-3-2)
	(7b-4) ペットボトル	(t/年)	96	96	95	95	94	93	92	91	91	90	89	89	88	88	87	87	87	87	87	(3a-3-4)×0.97
	(7b-5) プラスチック製容器包装	(t/年)	259	258	270	274	277	279	282	285	288	291	294	297	300	303	306	309	312	312	312	(3a-3-5)×0.99
	(7b-6) 白色トレイ・発泡スチロール	(t/年)	9	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(3a-3-6)×1.02
	(7b-7) 乾電池	(t/年)	11	11	11	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	(3a-4-3)×1.05
	(7b-8) 蛍光灯	(t/年)	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	(3a-4-2)×1.01
	(7b-9) プラスチック製品	(t/年)	66	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(3a-3-10)
	(7b-10) 肥料・飼料	(t/年)	61	56	57	58	58	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	58	58	58	58	((3a-3-11)+(4a-1-3)+(4a-2-3))×0.45
	(7b-11) 小型家電	(t/年)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	H24年度実績一定推移
(7b-12) スラグ・メタル	(t/年)	833	826	847	860	871	883	896	908	920	933	946	959	972	985	999	1,012	1,026	1,026	1,026	(5)×0.12	
(7c) 資源回収事業	(t/年)	1,631	1,651	1,669	1,688	1,704	1,720	1,736	1,752	1,769	1,785	1,802	1,819	1,835	1,852	1,869	1,886	1,902	1,902	1,902	(3c)	
(7c-1) 古紙	(t/年)	1,502	1,521	1,540	1,559	1,576	1,592	1,608	1,625	1,641	1,658	1,675	1,691	1,708	1,725	1,742	1,758	1,775	1,775	1,775	(3c-1)	
(7c-2) 古着	(t/年)	116	116	116	115	115	114	114	113	113	113	113	112	112	112	112	112	112	112	112	(3c-2)	
(7c-3) アルミ缶	(t/年)	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	(3c-3)	
(7c-4) スチール缶	(t/年)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(3c-4)	
(8) 再生利用率	(%)	38.8	38.7	37.9	37.8	37.6	37.4	37.3	37.1	37.0	36.8	36.7	36.6	36.4	36.3	36.2	36.0	35.9	35.9	35.9	(7)/(2)×100	

注) 数値は四捨五入のため、合計値が一致しない場合があります。

3 目標達成ケースの予測

表 1-31 に示す削減目標等に基づき、現況推移ケースからの削減量を表 1-32 のとおり算出しました。
また、削減・資源化量を加味したごみ排出量の将来予測（目標達成ケース）は表 1-33～34 に示すとおりです。

表 1-31 現況推移ケースからの削減目標等

施策		削減対象	資源化対象	目標年度 (平成40年度) 削減・資源化目標	削減・資源化根拠	
発生抑制	生ごみ堆肥化容器・処理機の使用	燃やすごみ (収集)	—	4%削減	家庭系燃やすごみの組成調査結果より、生ごみは全体の約40%を占めています。堆肥化容器・処理機の普及、水切りの推進により燃やすごみ中の生ごみを10%削減します。	
	水切りの徹底					
	マイバック・マイボトルの利用促進、過剰包装・使い捨て品の購入自粛	プラスチック製容器包装	—	12%削減	目標年度（平成40年度）に過剰包装商品の購入自粛を周知徹底し、1世帯あたり12%の削減を目指します。	
		ミックスペーパー	—	5%削減	目標年度（平成40年度）に過剰包装商品の購入自粛を周知徹底し、1世帯あたり5%の削減を目指します。	
再使用	リサイクルショップやフリーマーケットの活用、不用品の有効利用	不燃ごみ	—	2%削減	電化製品などの不燃ごみとして排出されるもので、使用可能なものは再利用するように周知徹底し、2%削減を目指します。	
		粗大ごみ	—	5%削減	電化製品や家具などの粗大ごみとして排出されるもので、使用可能なものは再利用するように周知徹底し、5%削減を目指します。	
家庭系ごみ	資源ごみの分別徹底、資源回収事業への参加、	燃やすごみ (収集)	プラスチック製容器包装	1%資源化移行	家庭系燃やすごみの組成調査結果より、汚れていないプラスチック製容器包装は全体の約2%を占めています。分別徹底を行い、燃やすごみ中のプラスチック製容器包装を50%資源化します。	
			ミックスペーパー	2.5%資源化移行	家庭系燃やすごみの組成調査結果より、汚れていないミックスペーパーは全体の約5%を占めています。分別徹底を行い、燃やすごみ中のミックスペーパーを50%資源化します。	
	再生利用	資源拠点回収等の活用	燃やすごみ (収集)	古紙 (拠点回収)	2.5%資源化移行	家庭系燃やすごみの組成調査結果より、古紙は全体の約5%を占めています。資源化可能なものは分別徹底を行い、燃やすごみ中の古紙を50%資源化します。
				古着 (拠点回収)	1%資源化移行	家庭系燃やすごみの組成調査結果より、古着は全体の約2%を占めています。資源化可能なものは分別徹底を行い、燃やすごみ中の古着を50%資源化します。
			—	アルミ缶	5t回収	アルミ缶の拠点回収量は0tとなっていますが、拠点回収の活用を促進し、5tの排出を目指します。
				スチール缶	5t回収	スチール缶の拠点回収は平成25年度より開始しており実績がありませんが、拠点回収の活用を促進し、5tの排出を目指します。
	小型家電の回収促進	不燃ごみ	小型家電	2%資源化移行	平成24年4月より回収を開始した小型家電の分別について周知徹底し、不燃ごみから2%資源化します。	
		粗大ごみ		3%資源化移行	平成24年4月より回収を開始した小型家電の分別について周知徹底し、粗大ごみから3%資源化します。	
	使用済み天ぷら油の回収促進	燃やすごみ (収集)	使用済み天ぷら油	0.1%資源化移行	平成25年度よりスーパーでの回収を始めたことより、周知徹底を図り、燃やすごみ（収集）からの資源化移行により0.1%資源化します。	
	事業系ごみ	再生利用	食品リサイクルの推進	燃やすごみ (許可収集)	資源ごみ	3%資源化移行

表 1-32 現況推移ケースからの削減量

●削減目標

分別項目	実績値	推計値																備考		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度			
家庭系	(3a-1) 燃やすごみ (収集)	5,010	5,035	5,204	5,307	5,403	5,499	5,597	5,696	5,796	5,899	6,003	6,108	6,215	6,323	6,432	6,542	6,653	目標年度 (平成40年度) に11.1%削減	
	削減量 (%)	—	0%	0.7%	1.5%	2.2%	3.0%	3.7%	4.4%	5.2%	5.9%	6.7%	7.4%	8.1%	8.9%	9.6%	10.4%	11.1%		
	削減後	5,010	5,035	5,166	5,229	5,283	5,337	5,390	5,443	5,496	5,550	5,603	5,656	5,709	5,761	5,813	5,864	5,915		
	(3a-2) 不燃ごみ (収集)		107	109	110	111	113	114	115	116	117	118	120	121	122	123	124	126	127	目標年度 (平成40年度) に4%削減
		削減量 (%)	—	0%	0.3%	0.5%	0.8%	1.1%	1.3%	1.6%	1.9%	2.1%	2.4%	2.7%	2.9%	3.2%	3.5%	3.7%	4.0%	
		削減後	107	109	110	111	112	113	113	114	115	116	117	118	119	119	120	121	122	
	(3a-3-5) プラスチック製容器包装		257	260	273	276	279	282	285	288	291	294	297	300	303	306	309	312	315	目標年度 (平成40年度) に12%削減
		削減量 (%)	—	0%	0.8%	1.6%	2.4%	3.2%	4.0%	4.8%	5.6%	6.4%	7.2%	8.0%	8.8%	9.6%	10.4%	11.2%	12.0%	
		削減後	257	260	271	272	273	273	274	274	275	275	276	276	276	276	277	277	277	
	(3a-3-7) ミックスペーパー		304	299	298	296	295	293	292	290	289	288	287	286	286	285	284	284	283	目標年度 (平成40年度) に5%削減
		削減量 (%)	—	0%	0.3%	0.7%	1.0%	1.3%	1.7%	2.0%	2.3%	2.7%	3.0%	3.3%	3.7%	4.0%	4.3%	4.7%	5.0%	
		削減後	304	299	297	294	292	289	287	285	282	280	279	277	275	273	272	270	269	
(3a-5) 粗大ごみ		407	405	410	415	419	423	428	432	436	440	445	449	453	458	462	466	471	目標年度 (平成40年度) に8%削減	
	削減量 (%)	—	0%	0.5%	1.1%	1.6%	2.1%	2.7%	3.2%	3.7%	4.3%	4.8%	5.3%	5.9%	6.4%	6.9%	7.5%	8.0%		
	削減後	407	405	408	410	412	414	416	418	420	422	423	425	427	428	430	432	433		
事業系	(4a-1-1) 可燃ごみ (許可収集)	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	目標年度 (平成40年度) に3%削減	
	削減量 (%)	—	0%	0.2%	0.4%	0.6%	0.8%	1.0%	1.2%	1.4%	1.6%	1.8%	2.0%	2.2%	2.4%	2.6%	2.8%	3.0%		
	削減後	1,493	1,493	1,490	1,487	1,484	1,481	1,478	1,475	1,472	1,469	1,466	1,463	1,460	1,457	1,454	1,451	1,448		

●資源化移行目標

分別項目	実績値	推計値																備考		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度			
家庭系	(3a-3-5) プラスチック製容器包装		257	260	271	272	273	274	274	275	275	276	276	276	276	277	277	277	目標年度 (平成40年度) 燃やすごみから1% 資源化移行	
		資源化移行量 (t)	—	0	4	9	13	18	22	27	31	35	40	44	49	53	58	62		67
		資源化移行後	257	260	275	281	286	291	296	301	306	311	315	320	325	330	334	339		343
	(3a-3-7) ミックスペーパー		304	299	297	294	292	289	287	285	282	280	279	277	275	273	272	270	269	目標年度 (平成40年度) 燃やすごみから2.5% 資源化移行
		資源化移行量 (t)	—	0	11	22	33	44	55	67	78	89	100	111	122	133	144	155	166	
		資源化移行後	304	299	308	317	325	334	342	351	360	369	378	388	397	406	416	426	435	
	(3a-3-12-1) 古紙 (拠点回収)		64	67	68	68	69	70	71	71	72	73	73	74	75	76	76	77	78	目標年度 (平成40年度) 燃やすごみから2.5% 資源化移行
		資源化移行量 (t)	—	0	11	22	33	44	55	67	78	89	100	111	122	133	144	155	166	
		資源化移行後	64	67	79	91	102	114	126	138	150	161	173	185	197	209	221	232	244	
	(3a-3-12-2) 古着 (拠点回収)		12	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	15	15	目標年度 (平成40年度) 燃やすごみから1% 資源化移行
		資源化移行量 (t)	—	0	4	9	13	18	22	27	31	35	40	44	49	53	58	62	67	
		資源化移行後	12	13	17	22	26	31	36	40	45	49	54	58	63	68	72	77	81	
	(3a-3-12-3) アルミ缶 (拠点回収)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	目標年度 (平成40年度) に5t 資源化
		資源化移行量 (t)	—	0	0	1	1	1	2	2	2	3	3	4	4	4	5	5	5	
		資源化移行後	0	0	0	1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	4	4	5	5	
	(3a-3-12-4) スチール缶 (拠点回収)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	目標年度 (平成40年度) に5t 資源化
		資源化移行量 (t)	—	0	0	1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	4	4	5	5	
		資源化移行後	0	0	0	1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	4	4	5	5	
(3a-3-12-5) 小型家電 (拠点回収)		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	目標年度 (平成40年度) に不燃ごみから2%、粗大ごみから3% 資源化移行	
	不燃ごみ資源化移行量 (t)	—	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3		
	粗大ごみ資源化移行量 (t)	—	0	1	2	3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13	14		
(7a-1) 使用済み天ぷら油		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	目標年度 (平成40年度) 燃やすごみから0.1% 資源化移行	
	資源化移行量 (t)	—	0	0	1	1	2	2	3	3	4	4	4	5	5	6	6	7		
	資源化移行後	0	4	4	5	5	6	6	7	7	8	8	8	9	9	10	10	11		
事業系	(4a-1-3) 資源ごみ (許可収集)	46	48	49	49	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	目標年度 (平成40年度) に3%資源化移行	
	資源化移行量 (t)	—	0	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45		
	資源化移行後	46	48	52	55	58	61	65	68	71	74	77	80	83	86	88	91	94		

表 1-33 ごみ排出量の推計（目標達成ケース）（表 1-34 へ続く）

区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	備考
(1) 収集人口	(人)	38,543	39,029	39,514	40,000	40,420	40,840	41,260	41,680	42,100	42,530	42,960	43,390	43,820	44,250	44,680	45,110	45,540	都市計画マスタープラン
(2) 総排出量	(t/年)	10,021	10,058	10,174	10,289	10,390	10,491	10,591	10,692	10,792	10,895	10,997	11,098	11,200	11,301	11,401	11,501	11,601	(3) + (4)
	(g/人・日)	712.3	706.1	705.4	704.7	704.2	703.8	703.3	702.8	702.3	701.8	701.3	700.8	700.2	699.7	699.1	698.5	697.9	上記数値/(1)×365×10 ⁶
処理しなければならないごみの一人一日当たりの量※	(g/人・日)	504.0	499.3	502.3	500.5	499.0	497.4	495.9	494.4	492.9	491.3	489.8	488.3	486.7	485.2	483.7	482.2	480.6	
(3) 家庭系ごみ合計	(t/年)	8,355	8,397	8,510	8,624	8,724	8,824	8,924	9,025	9,125	9,227	9,329	9,431	9,533	9,635	9,736	9,837	9,937	(3a) + (3b) + (3c)
	(g/人・日)	593.9	589.4	590.1	590.7	591.3	592.0	592.6	593.2	593.8	594.4	595.0	595.5	596.0	596.5	597.0	597.4	597.8	上記数値/(1)×365×10 ⁶
(3a) 収集ごみ	(t/年)	6,723	6,745	6,840	6,935	7,019	7,103	7,187	7,271	7,355	7,441	7,527	7,612	7,697	7,782	7,866	7,950	8,034	Σ(3a-1~5)
(3a-1) 燃やすごみ	(t/年)	5,010	5,035	5,166	5,229	5,283	5,337	5,390	5,443	5,496	5,550	5,603	5,656	5,709	5,761	5,813	5,864	5,915	現況推移ケースより11.1%削減
(3a-2) 不燃ごみ	(t/年)	107	109	110	111	112	113	113	114	115	116	117	118	119	119	120	121	122	現況推移ケースより4%削減
(3a-2-1) 陶磁器・ガラス	(t/年)	68	69	70	70	71	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76	77	77	平成24年度実績より按分して算出
(3a-2-2) その他不燃ごみ	(t/年)	39	40	40	40	41	41	41	42	42	42	43	43	43	44	44	44	44	平成24年度実績より按分して算出
(3a-3) 資源ごみ	(t/年)	1,179	1,175	1,135	1,164	1,191	1,218	1,246	1,274	1,303	1,332	1,362	1,391	1,421	1,451	1,482	1,512	1,543	Σ(3a-3-1~12)
(3a-3-1) 生きびん	(t/年)	13	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	
(3a-3-2) その他びん	(t/年)	239	237	235	234	233	232	230	229	228	227	226	226	225	224	224	223	223	
(3a-3-3) 飲料缶	(t/年)	59	57	55	54	52	51	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	
(3a-3-4) ペットボトル	(t/年)	96	99	98	97	97	96	95	94	93	93	92	92	91	91	90	90	89	
(3a-3-5) プラスチック製容器包装	(t/年)	257	260	275	281	286	291	296	301	306	311	315	320	325	330	334	339	343	現況推移ケースより12%削減+(3a-1)×1%資源化移行
(3a-3-6) 白色トレイ・発泡スチロール	(t/年)	9	9																
(3a-3-7) ミックスペーパー	(t/年)	304	299	308	317	325	334	342	351	360	369	378	388	397	406	416	426	435	現況推移ケースより5%削減+(3a-1)×2.5%資源化移行
(3a-3-8) その他のアルミ	(t/年)	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
(3a-3-9) その他金属	(t/年)	41	39	39	38	38	38	37	37	36	36	36	35	35	35	34	34	34	
(3a-3-10) プラスチック製品	(t/年)	67	67																
(3a-3-11) 生ごみ（里・逆川）	(t/年)	10	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	平成25年度より里区のみ収集
(3a-3-12) 拠点回収	(t/年)	79	83	102	120	138	156	175	193	211	229	247	266	284	302	320	339	357	Σ(3a-3-12-1~5)
(3a-3-12-1) 古紙	(t/年)	64	67	79	91	102	114	126	138	150	161	173	185	197	209	221	232	244	現況推移ケースより(3a-1)×2.5%資源化移行
(3a-3-12-2) 古着	(t/年)	12	13	17	22	26	31	36	40	45	49	54	58	63	68	72	77	81	現況推移ケースより(3a-1)×1%資源化移行
(3a-3-12-3) アルミ缶	(t/年)	0	0	0	1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	4	4	5	5	目標年度に5t資源化
(3a-3-12-4) スチール缶	(t/年)	-	0	0	1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	4	4	5	5	平成25年度より回収開始、目標年度に5t資源化
(3a-3-12-5) 小型家電	(t/年)	4	4	5	6	8	9	10	11	12	13	14	16	17	18	19	20	21	現況推移ケースより(3a-2)×2%、(3a-5)×3%資源化移行
(3a-4) 危険・有害ごみ	(t/年)	21	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21	22	22	22	22	22	Σ(3a-4-1~3)
(3a-4-1) スプレー缶	(t/年)	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	
(3a-4-2) 蛍光灯	(t/年)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	
(3a-4-3) 乾電池	(t/年)	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	
(3a-5) 粗大ごみ	(t/年)	407	405	408	410	412	414	416	418	420	422	423	425	427	428	430	432	433	目標達成ケースより8%削減
(3a-5-1) 可燃ごみ	(t/年)	264	263	265	266	267	269	270	271	272	273	275	276	277	278	279	280	281	平成24年度実績より按分して算出
(3a-5-2) 不燃ごみ	(t/年)	37	37	37	37	37	38	38	38	38	38	38	39	39	39	39	39	39	平成24年度実績より按分して算出
(3a-5-3) 資源ごみ	(t/年)	106	105	106	107	107	108	108	109	109	110	110	111	111	112	112	112	113	平成24年度実績より按分して算出
(3b) 直接搬入ごみ	(t/年)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	Σ(3b-1~2)
(3b-1) 可燃ごみ	(t/年)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
(3b-2) 不燃ごみ	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(3c) 資源回収事業	(t/年)	1,631	1,651	1,669	1,688	1,704	1,720	1,736	1,752	1,769	1,785	1,802	1,819	1,835	1,852	1,869	1,886	1,902	Σ(3c-1~4)
(3c-1) 古紙	(t/年)	1,502	1,521	1,540	1,559	1,576	1,592	1,608	1,625	1,641	1,658	1,675	1,691	1,708	1,725	1,742	1,758	1,775	
(3c-2) 古着	(t/年)	116	116	116	115	115	114	114	113	113	113	113	112	112	112	112	112	112	
(3c-3) アルミ缶	(t/年)	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	
(3c-4) スチール缶	(t/年)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
(4) 事業系ごみ合計	(t/年)	1,667	1,661	1,663	1,665	1,666	1,666	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,666	1,666	1,665	1,664	1,663	(4a)
	(t/日)	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	(4a)/365
(4a) 収集ごみ	(t/年)	1,667	1,661	1,663	1,665	1,666	1,666	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667	1,666	1,666	1,665	1,664	1,663	Σ(4a-1~2)
(4a-1) 許可（一般事業所）	(t/年)	1,539	1,541	1,542	1,542	1,542	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	1,543	Σ(4a-2-1~3)
(4a-1-1) 可燃ごみ	(t/年)	1,493	1,493	1,490	1,487	1,484	1,481	1,478	1,475	1,472	1,469	1,466	1,463	1,460	1,457	1,454	1,451	1,448	現況推移ケースより3%削減
(4a-1-2) 不燃ごみ	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4a-1-3) 資源ごみ	(t/年)	46	48	52	55	58	61	65	68	71	74	77	80	83	86	88	91	94	現況推移ケースより(4a-1-1)×3%資源化移行
(4a-2) 委託（公共施設）	(t/年)	127	121	122	122	123	124	124	124	125	125	124	124	124	123	122	122	121	Σ(4a-2-1~3)
(4a-2-1) 可燃ごみ	(t/年)	53	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	
(4a-2-2) 不燃ごみ	(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4a-2-3) 資源ごみ	(t/年)	75	72	73	74	75	75	76	76	76	76	76	76	75	75	74	73	72	

注）数値は四捨五入のため、合計値が一致しない場合があります。

※処理しなければならないごみの一人一日当たりの量＝（ごみ総排出量－資源ごみ量－資源事業回収量）÷総人口÷365

表 1-34 ごみ処理量の推計（目標達成ケース）（表 1-33 からの続き）

区 分		単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	備 考		
処 理 内 訳	(5) 焼却処理量	(t/年)	6,865	6,885	7,015	7,077	7,130	7,182	7,234	7,286	7,337	7,389	7,441	7,493	7,544	7,594	7,644	7,694	7,743	$\Sigma(5a\sim c)$		
	焼却処理率	(%)	68.5	68.5	69.0	68.8	68.6	68.5	68.3	68.1	68.0	67.8	67.7	67.5	67.4	67.2	67.0	66.9	66.7	66.7	(上記) / (2) × 100	
	(5a) 可燃ごみ	(t/年)	6,820	6,840	6,969	7,031	7,083	7,136	7,187	7,239	7,290	7,342	7,393	7,444	7,495	7,545	7,595	7,645	7,693	7,693	$(3a-1) + (3a-5-1) + (3b-1) + (4a-1-1) + (4a-2-1)$	
	(5b) 破砕可燃	(t/年)	43	45	45	46	46	46	47	47	47	47	48	48	48	48	49	49	49	49	49	$\{(3a-2-2) + (3a-5-2)\} \times 0.59$
	(5c) 灰溶解	(t/年)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 t で一定推移
内 訳	(6) 最終処分量	(t/年)	388	391	397	400	403	406	409	412	415	418	421	424	427	429	432	435	438	438	$\Sigma(6a\sim b)$	
	最終処分率	(%)	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	(上記) / (2) × 100
	(6a) 岡崎市最終処分場	(t/年)	314	317	322	325	327	330	332	334	337	339	341	344	346	348	351	353	355	355	355	$\Sigma(6a-1\sim 2)$
	(6a-1) 焼却灰	(t/年)	265	275	281	283	285	287	289	291	293	296	298	300	302	304	306	308	308	310	310	$(5) \times 0.04$
	(6a-2) 破砕不燃	(t/年)	49	41	42	42	42	42	43	43	43	44	44	44	44	45	45	45	45	45	45	$\{(3a-2-2) + (3a-5-2)\} \times 0.54$
	(6b) 幸田町最終処分場	(t/年)	74	74	75	75	76	77	77	78	78	79	79	80	81	81	82	82	82	83	83	(6b-1)
(6b-1) 陶磁器・ガラス	(t/年)	74	74	75	75	76	77	77	78	78	79	79	80	81	81	82	82	82	83	83	$(3a-2-1) \times 1.07$	
資 源 化 内 訳	(7) 資源化量	(t/年)	3,893	3,889	3,890	3,952	4,008	4,064	4,120	4,177	4,234	4,292	4,351	4,409	4,468	4,527	4,585	4,644	4,703	4,703	$\Sigma(7a\sim c)$	
	(7a) 直接資源化量	(t/年)	441	432	459	486	513	541	568	595	623	651	679	707	735	764	792	820	849	849	849	$\Sigma(7a-1\sim 4)$
	(7a-1) 廃食用油	(t/年)	3	4	4	5	5	6	6	7	7	8	8	8	9	9	10	10	11	11	11	現況推移ケースより (3a-1) × 0.1% 資源化移行
	(7a-2) 古紙類	(t/年)	413	403	425	448	470	492	515	538	561	584	607	630	653	677	700	724	747	747	747	$\{(3a-3-7) + (3a-3-12-1)\} \times 1.1$
	(7a-3) 布類	(t/年)	12	13	17	22	26	31	36	40	45	49	54	58	63	68	72	77	81	81	81	(3a-3-12-2)
	(7a-4) びん類	(t/年)	13	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	(3a-3-1)
	(7b) 中間処理後資源化量	(t/年)	1,821	1,807	1,762	1,777	1,790	1,803	1,816	1,829	1,842	1,856	1,870	1,883	1,897	1,911	1,925	1,938	1,952	1,952	1,952	$\Sigma(7b-1\sim 12)$
	(7b-1) 缶類	(t/年)	54	54	53	52	51	50	49	49	48	48	48	47	47	47	47	47	47	46	46	$\{(3a-3-3) + (3a-3-12-3) + (3a-3-12-4)\} \times 0.94$
	(7b-2) 金属類	(t/年)	177	178	178	178	179	179	179	179	179	180	180	180	181	181	181	181	182	182	182	$\{(3a-3-8) + (3a-3-9) + (3a-4-1) + (3a-5-3)\} \times 1.13$
	(7b-3) びん類	(t/年)	240	237	235	234	233	232	230	229	228	227	226	226	225	224	224	224	223	223	223	(3a-3-2)
	(7b-4) ペットボトル	(t/年)	96	96	95	95	94	93	92	91	91	90	89	89	88	88	87	87	87	87	87	$(3a-3-4) \times 0.97$
	(7b-5) プラスチック製容器包装	(t/年)	259	258	273	278	283	288	293	298	303	307	312	317	322	326	331	336	340	340	340	$(3a-3-5) \times 0.99$
	(7b-6) 白色トレイ・発泡スチロール	(t/年)	9	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$(3a-3-6) \times 1.02$
	(7b-7) 乾電池	(t/年)	11	11	11	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	$(3a-4-3) \times 1.05$
	(7b-8) 蛍光管	(t/年)	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	$(3a-4-2) \times 1.01$
	(7b-9) プラスチック製品	(t/年)	66	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(3a-3-10)
	(7b-10) 肥料・飼料	(t/年)	61	56	59	61	62	64	66	67	69	70	71	73	74	75	76	77	78	78	78	$\{(3a-3-11) + (4a-1-3) + (4a-2-3)\} \times 0.45$
(7b-11) 小型家電	(t/年)	10	10	13	16	19	22	25	27	30	33	36	39	42	45	48	51	53	53	53	平成24年度実績の拠点回収量より按分	
(7b-12) スラグ・メタル	(t/年)	833	826	842	849	856	862	868	874	880	887	893	899	905	911	917	923	929	929	929	$(5) \times 0.12$	
(7c) 資源回収事業	(t/年)	1,631	1,651	1,669	1,688	1,704	1,720	1,736	1,752	1,769	1,785	1,802	1,819	1,835	1,852	1,869	1,886	1,902	1,902	1,902	(3c)	
(7c-1) 古紙	(t/年)	1,502	1,521	1,540	1,559	1,576	1,592	1,608	1,625	1,641	1,658	1,675	1,691	1,708	1,725	1,742	1,758	1,775	1,775	1,775	(3c-1)	
(7c-2) 古着	(t/年)	116	116	116	115	115	114	114	113	113	113	113	112	112	112	112	112	112	112	112	(3c-2)	
(7c-3) アルミ缶	(t/年)	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	(3c-3)	
(7c-4) スチール缶	(t/年)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(3c-4)	
(8) 再生利用率	(%)	38.8	38.7	38.2	38.4	38.6	38.7	38.9	39.1	39.2	39.4	39.6	39.7	39.9	40.1	40.2	40.4	40.5	40.5	40.5	$(7) / (2) \times 100$	

注) 数値は四捨五入のため、合計値が一致しない場合があります。